千葉科学大学履修規程に関する細則

(目的)

第1条 この細則は、千葉科学大学履修規程で定めた別表について、とりまとめたものとする。

(種類)

- 第2条 別表は、下記の種類とする。
 - 別表 1. 読み替え科目 (履修規程 第10条第4項)
 - 別表 2. 重複履修の禁止 (履修規程 第14条)
 - 別表3の1. 教育の基礎的理解に関する科目等/教職に関する科目及び履修要件 (履修規程 第15 条第2項)
 - 別表3の2. 大学が独自に設定する科目/教科又は教職に関する科目 (履修規程 第15条第2項)
 - 別表 3 の 3. 大学が独自に設定する科目/養護又は教職に関する科目(履修規程 第15条第2項)
 - 別表 4. 教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する科目 (履修規程 第15条第3項)
 - 別表 5. 養護に関する科目及び履修要件(履修規程 第15条第4項)
 - 別表 6. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目に対応する本学の授業科目と単位数(履修規程 第15条第5項)
 - 別表 7 の 1. 博物館学芸員に関する科目(必修科目)及び履修要件 (履修規程 第 16 条第 2 項)
 - 別表 7 の 2. 博物館学芸員に関する科目 (選択科目) (履修規程 第16条第3項)
 - 別表 8. 臨床工学技士指定科目及び履修要件(履修規程 第17条)
 - 別表 9 の 1. 臨床検査技師指定科目(履修規程 第18条)
 - 別表9の2. 臨床検査技師生理検査及び採血に関する科目及び履修要件(履修規程 第18条第2項)
 - 別表 10. 救急救命士指定科目及び履修要件 (履修規程 第19条)
 - 別表 11. 保健師国家試験指定科目及び履修要件(履修規程 第20条)
 - 別表 12. 食品衛生管理者及び食品衛生監視員指定科目(履修規程 第21条第2項)
 - 別表 13. 日本語科目 (履修規程 第22条)
 - 別表 14. 自由科目 (履修規程 第 36 条)
 - 別表 15. 外部検定試験による単位認定(履修規程 第43条)
 - 別表 16. 海外研修プログラム (履修規程 第45条)
 - 別表 17. 進級・卒業要件 (履修規程 第47条)

(改廃)

- 第3条 この細則の改廃は、大学協議会の審議を経て学長により行われる。
- 第4条 この細則が改正されたときは、直ちに学生に告示される。
 - 附 則(平成31年3月7日 第11回大学協議会)
 - この細則は、平成31年4月1日から施行する。
 - 附 則(令和元年11月7日 第7回大学協議会)
 - この細則は、令和元年11月7日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則(令和2年3月5日 第11回大学協議会)

- この細則は、令和2年4月1日から施行する。
 - 附 則(令和2年5月14日 第2回大学協議会)
- この細則は、令和2年5月14日から施行し、令和2年4月1日から適用する。 附 則(令和3年3月4日 第11回大学協議会)
- この細則は、令和3年4月1日から適用する。 附 則(令和4年4月14日 第1回大学協議会)
- この細則は、令和4年4月14日から施行し、令和4年4月1日から適用する。 附 則(令和4年11月10日 第7回大学協議会)
- この細則は、令和4年11月10日から施行し、令和4年4月1日から適用する。 附 則(令和5年3月2日 第11回大学協議会)
- この細則は、令和5年4月1日から適用する。

別表1 (第10条関係) 読み替え科目

1 一般基礎科目

~2013	2014~2018	2019	備考	
英会話 I (2)	実用英会話 I (2)	実用英会話 I (2)		
英会話Ⅱ (2)	実用英会話Ⅱ (2)		2015年度より読み 替え開始	
日本語 (1)	日本語 I (1)		2014年度より読み 替え開始	
口本語(I)	日本語Ⅱ(1)		2014年度より読み 替え開始	
日本語会話(1)	日本語Ⅲ (2)		2015年度より読み 替え開始	
口本前云的(1)	日本語IV (2)		2015年度より読み 替え開始	
日本語理解(1)	日本語理解 I (1)		2014年度より読み 替え開始	
日本語表現(1)	日本語理解Ⅱ (1)		2014年度より読み 替え開始	
企業等体験実習 (3) ** インターンシップ (3) **		2021 年度より読 み替え開始		

※薬学部は5年次

() 内は開講学年

2 教職科目

~2011	2012	2013	2014~2018	2019	備考
教育学原論(1)		教育原論(1)		2014 年度より読み 替え開始	
道徳教育の研究(2)	道徳教育の理論	àと方法 (2)		道徳教育の理論 及び方法 (2)	2020 年度より読み 替え開始
特別活動の研究 (2)	特別活動の理論	特別活動の理論と方法 (2)		(廃止)	2013 年度より読み 替え開始
生徒指導の研究(進路指 導を含む)(2)	・		(廃止)	2013 年度より読み 替え開始	
教育相談の研究(1)	教育相談の理論	教育相談の理論と方法(1)		教育相談の理論 及び方法(1)	2019 年度より読み 替え開始
教育の方法と技術 (2)				教育の方法及び 技術 (2)	2020 年度より読み 替え開始

() 内は開講学年

3 博物館学芸員科目

2014~2018	2019~	備考
海州·哈宁中河 (0)	博物館実習 I (3)	2021 年度より読み 替え開始
博物館実習(3)	博物館実習Ⅱ(3)	2021 年度より読み 替え開始

() 内は開講学年

4 薬学科の専攻科目 (~2018年度)

2013~2014		2015~2018	備考
薬物治療学Ⅲ(4)		分子創薬・新薬論(4)	2018 年度より読み替え 開始
病態生理学(4)		病態生理学 I (3)	2017 年度より読み替え 開始
医薬品開発(4)	薬物治療学IV(4)	臨床生理・診断学(4)	2018 年度より読み替え 開始
特別実習(6)		卒業研究(4~6)	2020 年度より読み替え 開始

高齢者薬剤学(6)	個別化医療学(6)	2020 年度より読み替え 開始
情報薬学(4)	医薬品情報・評価学(4)	2018 年度より読み替え 開始

※2019年度より、新カリキュラム

() 内は開講学年

薬学科の専攻科目(2019年度~)

2019~2020	2021~2022	2023~	備考
基礎物理学(1)	基礎薬学物理(1)		2021 年度より読み替え 開始
生薬学 I (2)	生薬学(2)	生薬学 I (2)	2022 年度より読み替え 開始
薬理学導入(2)	基礎薬理学演習(2)	削除	2022 年度より読み替え 開始
再生移植医療学(4)	再生移植遺伝子医療· 薬物療法学(4)	再生移植遺伝子医療· 薬物療法学(6)	2024 年度より読み替え 開始
薬物動態学演習(4)	薬物動態学Ⅲ(4)	薬の生体内運命Ⅲ (3)	2025 年度より読み替え 開始
医学概論(3)	臨床医学各論(3)		2023 年度より読み替え 開始
生化学・分子生物学・ 病態生化学実習(2)	生命薬学実習 I (2)	削除	2022 年度より読み替え 開始
薬品分析・物理化学実 習(2)	物理系薬学実習(2)	削除	2022 年度より読み替え 開始
薬品合成化学実習(2)	化学系薬学実習 I (2)	削除	2022 年度より読み替え 開始
薬用資源学実習(2)	化学系薬学実習Ⅱ(2)	削除	2022 年度より読み替え 開始
免疫/微生物学実習(3)	生命薬学実習Ⅱ(3)	削除	2023 年度より読み替え 開始
薬理学・薬物治療学実 習(3)	医療薬学実習 I (3)	削除	2023 年度より読み替え 開始
薬剤学・化粧品科学実 習(3)	医療薬学実習Ⅱ(3)	削除	2023 年度より読み替え 開始
薬学入門(1)		・薬学入門(1)	2023 年度より読み替え
情報処理入門(1)		条子八门(1)	開始
機能形態学(1)		解剖生理学 I (1)	2023 年度より読み替え 開始
生体機能調節学(2)		解剖生理学Ⅱ (2)	2024 年度より読み替え 開始
分子生物学 I (2)		細胞生物学 I (1)	2023 年度より読み替え 開始
分子生物学Ⅱ (3)		細胞生物学Ⅱ (2)	2024 年度より読み替え 開始
遺伝子工学(2)		分子生物学・遺伝子工 学(3)	2025 年度より読み替え 開始
医薬品化学(3)		構造と薬物 (2)	2024 年度より読み替え 開始
病態生化学(3)		臨床生化学(3)	2025 年度より読み替え 開始
薬物動態学 I (3)	薬物動態学 I (3)		2025 年度より読み替え 開始
薬物動態学Ⅱ (3)		薬の生体内運命Ⅱ (3)	2025 年度より読み替え 開始
医薬品情報・評価学 (4)		情報リテラシーと医療 (4)	2026 年度より読み替え 開始
一般用医薬品学 (OTC)	(4)	セルフメディケーショ ン学(4)	2026 年度より読み替え 開始
薬局管理学(4)		地域医療学(4)	2026 年度より読み替え 開始
臨床栄養学(4)		臨床薬学(4)	2026 年度より読み替え 開始

ヒューマニズム I (1)		医療人の使命(1)	2023 年度より読み替え
	 ヒューマニズムⅡ (2)	ヒューマニズム (2)	開始 2024 年度より読み替え
	_	. ,	開始
医療コミュニケーション	II (4)	多職種連携とプロフェ ッショナリズム (4)	2026 年度より読み替え 開始
医療コミュニケーション	I (3)	グローバルコミュニケ ーション (5)	2027 年度より読み替え 開始
薬事関係法規(4)		薬剤師の責務 (2)	2024 年度より読み替え 開始
		薬剤師と法律(4)	2026 年度より読み替え 開始
香粧品学 I (2)		香粧品学(2)	2024 年度より読み替え 開始

() 内は開講学年

5 危機管理学科(危機管理システム学科)の専攻科目

2016~2018	2019~	2022~	備考
危機管理システム学研究法 I (2)	危機管理学研究法 I (2)	危機管理学研究法 I (2)	
危機管理システム学研究法Ⅱ (2)	危機管理学研究法Ⅱ (2)		2020 年度より 読み替え開始
危機管理システム学特講 I (3)	危機管理学特講 I (3)	危機管理学特講 I (3)	
危機管理システム学特講Ⅱ (3)	危機管理学特講Ⅱ (3)		2021 年度より 読み替え開始
危機管理システム学演習 I (3)	危機管理学演習 I (3)		2021 年度より 読み替え開始
危機管理システム学演習Ⅱ(3)	危機管理学演習Ⅱ (3)		2021 年度より 読み替え開始
地理情報 (GIS) 入門 (3)		地理情報システム論(3)	2024 年度より 読み替え開始

() 内は開講学年

6 保健医療学科(医療危機管理学科)の専攻科目 読替なし。

7 航空技術危機管理学科の専攻科目

2017~2021	2022~	備考
機械加工 (2)	材料学 (2)	2023 年度より読み 替え開始

() 内は開講学年

8 動物危機管理学科の専攻科目

	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			
2019	2020	2021	2022~	備考
HANB の科学実習(1)		動物行動学実習(1)		2021 年度より読み替 え開始
動物実務実習 I (2)			動物実務実習(2)	2023 年度より読み替 え開始
動物看護学入門(1)			動物看護学入門 I (1)	2022 年度より読み替 え開始
動物有護子八门(1)			動物看護学入門Ⅱ (1)	2022 年度より読み替 え開始
	動物飼育実習(1)		動物適正飼養実習 (1)	2022 年度より読み替 え開始
動物実務実習Ⅱ(3)			動物看護総合実習 (3)	2024 年度より読み替 え開始

acid d.L. /7. LM/ Aftermort BB (a)	動物危機管理入門 I (1)	2022 年度より読み替 え開始
動物危機管理入門(1)	動物危機管理入門Ⅱ (1)	2022 年度より読み替 え開始

() 内は開講学年

9 看護学科の専攻科目

~2021	2022~	備考
健康と社会の仕組み I (保健福祉行政論) (2)	健康と社会の仕組み I (保健医療福祉行政 論)(2)	2023 年度より読み替 え開始
健康と社会の仕組みIV (情報危機管理) (1)	健康と社会の仕組みⅢ(情報危機管理) (1)	2022 年度より読み替 え開始
基盤看護技術論 II (フィジカルアセスメント・コミュニケーショ ン) (1)	基盤看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメントⅠ)(1)	2022 年度より読み替 え開始
基盤看護技術論IV(看護過程)(2)	基盤看護技術論Ⅳ (看護過程・フィジカルアセスメン トⅡ) (2)	2023 年度より読み替 え開始
成人病態治療学 I (2)	病態治療学Ⅲ(2)	2023 年度より読み替え開始
成人病態治療学Ⅱ(2)	病態治療学Ⅱ(2)	2023 年度より読み替 え開始
老年病態治療学(2)	病態治療学 I (2)	2023 年度より読み替 え開始
成人急性期看護援助論 I (2)	急性期看護援助論 I (2)	2023 年度より読み替 え開始
成人急性期看護援助論Ⅱ(3)	急性期看護援助論Ⅱ(2)	2023 年度より読み替 え開始
成人慢性期看護援助論 I (2)	慢性期看護援助論 I (2)	2023 年度より読み替 え開始
成人慢性期看護援助論Ⅱ(3)	慢性期看護援助論Ⅱ (2)	2023 年度より読み替 え開始
成人急性期看護学演習(3)	急性期看護学演習(3)	2024 年度より読み替 え開始
成人慢性期看護学演習(3)	慢性期看護学演習(3)	2024 年度より読み替 え開始
公衆衛生看護学概論Ⅱ(養護概説)(2)	公衆衛生看護学概論Ⅱ (4)	2025 年度より読み替 え開始
公衆衛生看護方法論IV(学校保健)(3)	公衆衛生看護方法論IV (4)	2025 年度より読み替 え開始
看護の統合と実践(看護研究方法論) (4)	看護研究方法論(4)	2025 年度より読み替 え開始
看護の統合と実践演習 (卒業研究) (4)	卒業研究(4)	2025 年度より読み替 え開始
看護の統合と実践実習(4)	統合実習(4)	2025 年度より読み替 え開始

() 内は開講学年

別表 2 (第14条関係) 重複履修の禁止

1)	薬学科の「早期体験学習(銚子学)」、「早期体験学習・銚子学」と一般基礎科目の「銚子学」							
2)	医療危機管理学科の「人畜共通感染症学」及び保健医療学科(2019年度入学生まで)の「人畜共通感染症学」と動物							
	危機管理学科の「人獣共通感染症学」							
3)	動物危機管理学科(2015 年度入学生まで)の「環境科学」と看護学科の「いのちと生活Ⅲ(生活と危機管理)」							

別表3の1(第15条第2項関係)(教育の基礎的理解に関する科目等/教職に関する科目及び履 修要件)

1 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状における教職に関する科目に対応する本学の授業科目を次のとおりとする。

[平成 31 (2019) 年度入学生~令和 3年 (2021) 年度入学生]

		最低		単位	拉数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	修得 単位数	授業科目名	必	選	備考
	教育の理念並びに教育に関する歴史及 び思想		教育原論	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2		
教育の基礎的理解に関	教育に関する社会的、制度的又は経営 的事項 (学校と地域との連携及び学校安全へ の対応を含む。)	1 0	教育行政学	2		
する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程		教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及 び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリ キュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		
	道徳の理論及び指導法		道徳教育の理論及び方法	2		中免のみ
道徳、総合	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指 導法及び特別活動の指導 法	2		
的な学習の	特別活動の指導法					
時間等の指導法及び生	教育の方法及び技術(情報機器及び教 材の活用を含む。)	中10 高8	教育の方法及び技術	2		
徒指導、教 育相談等に	生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論及び方法	2		
関する科目	教育相談(カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び 方法		進路指導論	1		
			教育実習 I	2		「事前事後指導 1単位を含む」
*L * / - 11 - 1 - 1 - 1 - 1	教育実習	中 5	教育実習Ⅱ		1	中免のみ必修
教育実践に		高 3	教育実習Ⅲ	2		
関する科目			教育実習Ⅳ		1	中免のみ必修
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)

中学 30単位

高校 26単位

中学 0単位

高校 2単位

・教員の免許状取得のための選択科目

免許法に定める科目			本	学の開	学の開講科目				
教職科目			修得	授業科目	単位	必修	·選択	年次	備考
		中	高		数	中	高	1/	
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、含む 及び身分保障等を含む。) 進路選択資する各種の機会の 提供等	2	2	教職概論	2	0	0	2	
論に関する科	教育の理念並びに教育に関す る歴史及び思想	6	6	教育原論	2	0	0	1	
目	幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程(障害の ある幼児、児童及び生徒の心			教育心理学	2	0	0	1	
	身の発達及び学習の過程を含む。)			教育行政学	2	0	0	2	
	教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項			生涯学習論	2	0	0	3	
教育課程(及	教育課程の意義及び編成の方	1 2	6	教育課程論	2	0	0	2	
び指導法)に	法			理科教育法 I	2	0	0	2	
関する科目	各教科の指導法			理科教育法Ⅱ	2	0	0	2	
	特別活動の指導法			理科教育法Ⅲ	2	0	0	3	
	教育の方法及び技術(情報機			理科教育法IV	2	0	0	3	
	器及び教材の活用を含む。)			道徳教育の理論と方法※	2	0		2	
	道徳の指導法 ※小学校教			特別活動の理論と方法	2	0	0	2	
	論・中学校教諭のみ			教育の方法と技術	2	0	0	2	
育相談(及び	生徒指導の理論及び方法教育相談(カウンセリングに	4	4	生徒指導の理論と方法 (進路指導を含む)	2	©	0	2	
進路指導等)に関する科目	関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導の理論及び方法			教育相談の理論と方法	2	0	0	1	
教育実習		1	1	教育実習 I	2	0	0	3	
		4	2	教育実習Ⅱ	1	0	0	3	
				教育実習Ⅲ	2	0	0	4	
				教育実習Ⅳ	1	0	0	4	
教職実践演習		2	2	教職実践演習(中・高)	2	0	0	4	
	合 計	3 1	2 3		◎:	必修、	0::	選択	

2 「教育実習 II」「教育実習 III」「教育実習 III」「教育実習 IV」「教職実践演習 (中・高)」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

[平成 31 (2019) 年度入学生~令和 3年 (2021) 年度入学生]

授業科目	履修要件
教育実習 I	(1) 教育の基礎的理解に関する科目等について「教育原論」「教育心理学」「教職概論」を含
	む20単位以上を修得していること。
	(2) 教科及び教科の指導法に関する科目について次の要件を充足していること。
	「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」「生物学Ⅰ」「生物学Ⅱ」「地学Ⅰ」「地学
	Ⅱ」の8科目16単位のうち、14単位以上修得し、かつ「物理学実験」「化学実験」
	「生物学実験」「地学実験」の4科目4単位のうち、3単位以上修得していること。
	(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、必要単位8単位のうち
	「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む6単位以上を修得していること。
	(4) 懲戒処分を受けていないこと。
	(5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)
教育実習Ⅱ	「教育実習Ⅰ」を修得又は履修中であること。
教育実習Ⅲ	(1) 教育の基礎的理解に関する科目等について、2年次までの必修科目をすべて修得してい
教育実習Ⅳ	ること。
	(2)「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。
	(3) 教科及び教科の指導法に関する科目の必修科目をすべて修得していること。
	(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ
	実技」を含む8単位以上を修得していること。
	(5) 中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、介護等体験を修了していること。
	(6) 懲戒処分を受けていないこと。
	(7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)
教職実践演習 (中・高)	「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」「教育実習Ⅳ」を修得又は履修中であること。

注1) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。

授業科目	履修要件
教育実習 I	(1) 教職に関する科目について「教育原論」「教育心理学」「教職概論」を含む20単位以上
	を修得していること。
	(2) 教科に関する科目について次の要件を充足していること。
	ア 「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」「生物学Ⅰ」「生物学Ⅱ」「地学Ⅰ」「地
	学Ⅱ」の8科目16単位のうち、14単位以上修得し、かつ「物理学実験」「化学実
	験」「生物学実験」「地学実験」の4科目4単位のうち、3単位以上修得しているこ
	と。
	イ 上記以外の他、選択科目を8単位以上修得していること。
	(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、必要単位8単位のうち
	「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む6単位以上を修得していること。
	(4) 懲戒処分を受けていないこと。
	(5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)
教育実習Ⅱ	「教育実習Ⅰ」を修得又は履修中であること。
教育実習Ⅲ	(1) 教職に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得していること。
教育実習IV	(2)「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。
	(3) 教科に関する科目の必修科目をすべて修得していること。
	(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ
	実技」を含む8単位以上を修得していること。
	(5) 中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、介護等体験を修了していること。
	(6) 懲戒処分を受けていないこと。

	(7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注 1)
教職実践演習(中・高)	「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」「教育実習Ⅳ」を修得又は履修中であること。

- 注2) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。
- 3 養護教諭一種免許状における教職に関する科目に対応する本学の授業科目を次のとおりとする。

[平成 31 (2019) 年度入学生~令和 3年 (2021) 年度入学生]

		最低		単位	立数	
科目	各科目に含めることが必要な事項		授業科目名	必	選	備考
		単位数		~	~=	
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原論	2		
	^{応徳}					
	ーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的					
教育の基礎	事項		教育行政学	2		
的理解に関	(学校と地域との連携及び学校安全への対	8	教育行政子	2		
する科目	応を含む。)					
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学		教育心理学	2		
	習の過程					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び 生徒に対する理解		特別支援教育論	1		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュ					
	ラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		
			道徳教育の理論及び方法	2		
道徳、総合	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動		総合的な学習の時間の指			
的な学習の	に関する内容		導法及び特別活動の指導	2		
時間等の内			法			
容及び生徒 指導、教育	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の 活用を含む。)	6	教育の方法及び技術	2		
相談等に関	生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論及び方法	2		
する科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的		教育相談の理論及び方法	2		
	な知識を含む。)の理論及び方法		教育作成の圧柵及び方仏	2		
			養護実習事前事後指導	1		
	養護実習	5	養護実習 I	2		
教育実践に			養護実習Ⅱ	2		
関する科目	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習(養護教論)	2		

[・]教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)

28単位

・教員の免許状取得のための選択科目

0 単位

[平成 30 (2018) 年度以前入学生]

免許法に定める科目			本学の	開講科	講科目			
	教職科目	最低 修得 単位	授業科目	単位数	必修・選択	年次	備考	
教職の意義等 に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、含む及 び身分保障等を含む。) 進路選択資する各種の機会の提 供等	2	教職概論	2	©	2		
教育の基礎理 論に関する科 目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発	4	教育原論教育心理学	2	OO	1		
П	達及び学習の過程(障害のある 幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程を含む。) 教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項		教育行政学生涯学習論	2		2		
教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳及び特別活動に関する内容 教育の方法及び技術(情報機器 及び教材の活用を含む。)	4	教育課程論 道徳教育の理論と方法 特別活動の理論と方法 教育の方法と技術	2 2 2 2		2 3 2 3		
	生徒指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	4	生徒指導の理論と方法 (養護教諭) 教育相談の理論と方法	2	© ©	1		
養護実習		5	養護実習事前事後指導 養護実習 I 養護実習 Ⅱ	1 2 2	OO	3 3 4		
教職実践演習 合 計		2 2 1	教職実践演習 (養護教諭)	2	◎必修、	4 O:i	巽択	

4 「養護実習 I 」「養護実習 II 」「教職実践演習 (養護教諭)」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

[平成 31 (2019) 年度入学生~令和 3年 (2021) 年度入学生]

授業科目	履修要件
養護実習 I	(1) 教育の基礎的理解に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得している
	こと。
	(2)「養護実習事前事後指導」を修得又は履修中であること。
	(3) 養護に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得し、かつ、3年次春学
	期の必修科目を履修中であること。ただし、3年次春学期の必修科目が修得できない場
	合、「養護実習 I 」の履修を取り消すものとする。
	(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ
	実技」を含む8単位以上を修得していること。
	(5) 看護学部看護学科の専攻科目「公衆衛生看護方法論Ⅰ」を修得、若しくは「公衆衛生看
	護方法論Ⅲ」を履修中であること。ただし、上記2科目のうち1科目も修得できない場
	合は、「養護実習I」の履修を取り消すものとする。
	(6) 懲戒処分を受けていないこと。
	(7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)

養護実習Ⅱ	「養護実習I」を修得していなければならない。					
教職実践演習(養護教	「養護実習Ⅰ」「養護実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。					
諭)						

注1) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。

[平成 30 (2018) 年度以前入学生]

授業科目	履修要件
養護実習 I	(1) 教職に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得していること。
	(2)「養護実習事前事後指導」を修得又は履修中であること。
	(3) 養護に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得し、かつ、3年次春学
	期の必修科目を履修中であること。ただし、3年次春学期の必修科目が修得できない場
	合、「養護実習 I 」の履修を取り消すものとする。
	(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ
	実技」を含む8単位以上を修得していること。
	(5) 看護学部看護学科の専攻科目「公衆衛生看護方法論 I」を修得、若しくは「公衆衛生看
	護方法論Ⅲ」を履修中であること。ただし、上記2科目のうち1科目も修得できない場
	合は、「養護実習I」の履修を取り消すものとする。
	(6) 懲戒処分を受けていないこと。
	(7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)
養護実習Ⅱ	「養護実習I」を修得していなければならない。
教職実践演習(養護教	「養護実習Ⅰ」「養護実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。
諭)	

注1) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。

別表3の2 (第15条第2項関係) (大学が独自に設定する科目/教科又は教職に関する科目) [平成31 (2019) 年度入学生~令和3年 (2021) 年度入学生] (大学が独自に設定する科目) 中学校一種免許状(理科)

科目	457 344 T.V. F.I		立数	14th - far
区分	授業科目	必	選	備考
	介護等体験の研究		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低
+-	生涯学習論		2	取得単位を越えて履修した「教科及び教科の指導法
学が	学 理科教育基礎演習		1	に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科 目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生
· 独 自	理科教育実践演習		1	在指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関す
に設	教職理科演習 I		1	る科目」について、 <u>併せて4単位以上を取得</u>
定する	教職理科演習Ⅱ		1	
大学が独自に設定する科目	教職理科演習Ⅲ		1	
	教職理科演習IV		1	
	学校安全教育		2	

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)

0 単位

・教員の免許状取得のための選択科目

1 2 単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計

18単位

高校一種免許状(理科)

科目	極紫初日		立数	/#: :#Z-				
区分	授業科目	必	選	備考				
	介護等体験の研究	2 「大学が独自に設策						
	生涯学習論		2	最低取得単位を越えて履修した「教科及び教科				
大 学	道徳教育の理論及び方法		2	の指導法に関する科目」又は最低取得単位を超				
が 独	理科教育基礎演習		1	えて履修した「教育の基礎的理解に関する科				
自に	理科教育実践演習		1	目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及				
設定	教職理科演習 I		1	び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実				
する	教職理科演習Ⅱ		1	践に関する科目」について、併せて12単位以				
大学が独自に設定する科目	教職理科演習Ⅲ		1	上を取得				
	教職理科演習IV		1					
	学校安全教育		2					

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)

0 単位

・教員の免許状取得のための選択科目

14単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計

2 4 単位

[平成30(2018)年度以前入学生](教科又は教職に関する科目)

免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目					
科目	最低個単位数		授業科目		必修選択		年次	備考
	中	高			中	高		
教科又は教職に関する科目	科又は教職に関する科目 8 16 介護等体験の研究		介護等体験の研究	2	0	0	1	中免は必修
			道徳教育の理論と方法※	2		0	2	高免のみ
			「教職に関する科目」の最低値	を得単位数	を超えて	修得した	単位数	
			「教科に関する科目」の最低値					
合計	8	1 6	必修:◎、選択:○					

※道徳教育の理論と方法は、中学校教諭一種免許状においては「教職に関する科目」の必修科目である。高等学校教諭一種免許状においては、「教科又は教職に関する科目」の選択科目として修得できる。

別表3の3 (第15条第2項関係) (大学が独自に設定する科目/養護又は教職に関する科目) [平成31 (2019) 年度入学生~令和3年 (2021) 年度入学生] (大学が独自に設定する科目)

科目	IS NEAD ID	単位	立数	/#- +*
区分	授業科目	備考		
大学が独	介護等体験の研究		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低取 得単位を越えて履修した「養護に関する科目」又は 「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な
大学が独自に設定する科目	生涯学習論		2	学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、 <u>併せて</u>
する科目	学校安全教育		2	7単位以上を取得

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)

0 単位

・教員の免許状取得のための選択科目

6 単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計

16単位

[平成30 (2018) 年度以前入学生] (教科又は教職に関する科目)

免許法施行規則に定める科目	区分等	本学の開講科目						
科目	最低修得 単位数	授業科目	単位数	必修選択	年次	備考		
養護又は教職に関する科目	7	介護等体験の研究 2 ○ 1						
		「教職に関する科目」の最低値						
		「養護に関する科目」の最低修得単位数路超えて修得した単位数						
合計	7	必修:◎、選択:○						

別表4 (第15条第3項関係)(教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する科目)

危機管理学部動物危機管理学科における、教育職員免許状施行規則に定める教科に関する科目 は次のとおりである。

[令和2 (2020) 年度入学生~令和3年 (2021) 年度入学生] 中学校一種免許状(理科)

				最低 取得	単位数		
科目	区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	必	選	備考
		d/ sett W	物理学 I		2		
		物理学	物理学Ⅱ		2		
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験		1		
			化学 I		2		
		化学	化学Ⅱ		2		
			機器分析学			2	
教	教科	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験		1		
科	に		生物学 I		2		
及	関		生物学Ⅱ		2		
び 教	する		動物学			2	
科	専	生物学	動物機能形態学			2	
0)	門		実験動物学 I			2	
指	的事		実験動物学Ⅱ	28		2	
導法	車項		生態学			2	
に		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験		1		
関			動物機能形態学実習			1	
する			実験動物学実習			1	
科		地学	地学 I		2		
目		地子	地学Ⅱ		2		
		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験		1		
		及び教科の指導法に関する科目における複数の事 合わせた内容に係る科目					
	項を合わせに内谷に係る科目 -		理科教育法 I		2		
	久 数 1	単の指導法	理科教育法Ⅱ		2		
		報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅲ		2		
			理科教育法IV		2		

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 28単位

・教員の免許状取得のための選択科目

16単位

高校一種免許状(理科)

				最低	単位数		
科目	区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	取得			備考
	<u></u>			単位	必	選	DID 3
	1			数			
		物理学	物理学Ⅰ		2		
			物理学Ⅱ		2		
			化学 I		2		
		化学	化学Ⅱ		2		
			機器分析学			2	
	教		生物学 I		2		
教	科		生物学Ⅱ		2		
科	に		動物学			2	
及	関	生物学	動物機能形態学			2	
び	する		実験動物学 I			2	
教科	専		実験動物学Ⅱ	2 4		2	
カ の	門		生態学			2	
指	的	地学	地学 I		2		
導	事		地学Ⅱ		2		
法に	項		物理学実験		1		
関		 物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験		1		
す		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験		1		
る		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	動物機能形態学実習			1	
科目		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	実験動物学実習			1	
			地学実験		1		
	教科及	び教科の指導法に関する科目における複数の事					<u> </u>
	項を合わせた内容に係る科目						
			理科教育法 I		2		
	各教科	の指導法	理科教育法Ⅱ		2		
	(情報	機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅲ			2	
			理科教育法IV			2	

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 24単位

・教員の免許状取得のための選択科目

20単位

[平成 31 (2019) 年度入学生]

中学校一種免許状(理科)

科目	区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	最低 取得 単位	単位	立数 選	備考
			d/ att W =	数			
		物理学	物理学 I		2		
			物理学Ⅱ		2		
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験		1		
			化学I		2		
		化学	化学Ⅱ		2		
			機器分析学	-		2	
	教	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験		1		
教	科		生物学 I		2		
科及	に関		生物学Ⅱ		2		
び	す		動物学			2	
教	る		動物機能形態学			2	
科	専	生物学	実験動物学 I			2	
り指	門的		実験動物学Ⅱ	28		2	
導	事		動物寄生虫学			2	
法	項		生態学			2	
に関			生物学実験		1		
す		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	動物機能形態学実習			1	
る			実験動物学実習			1	
科			地学I		2		
目		地学			2		
		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験		1		
	教科》	I 及び教科の指導法に関する科目における複数の事					
	項を含	合わせた内容に係る科目					
			理科教育法 I		2		
		斗の指導法	理科教育法Ⅱ		2		
	(情報	報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅲ		2		
			理科教育法IV		2		

[・]教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)

・教員の免許状取得のための選択科目

2 8 単位 1 6 単位

高校一種免許状(理科)

				最低	単位	立数	
£81. ⊟	区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	取得			備考
17 0	区刀	位付日に占めることが必要な事項	1文未行口	単位	必	選	加力
				数			
		物理学	物理学I		2		
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	物理学Ⅱ		2		
			化学 I		2		
		化学	化学Ⅱ		2		
			機器分析学			2	
			生物学 I		2		
	教		生物学Ⅱ		2		
教	科		動物学			2	
科	に関	生物学	動物機能形態学	2 4		2	
及 び	す	上物子 	実験動物学 I			2	
教	る		実験動物学Ⅱ			2	
科	専		動物寄生虫学			2	
0	門的	地学	生態学			2	
指導	事		地学 I		2		
法	項		地学Ⅱ		2		
に			物理学実験		1		
関		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験		1		
する		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験		1		
科		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	動物機能形態学実習			1	
目		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	実験動物学実習			1	
			地学実験		1		
	教科及	なび教科の指導法に関する科目における複数の事					
	項を合	わせた内容に係る科目					
			理科教育法 I		2		
	各教科	4の指導法	理科教育法Ⅱ		2		
	(情報	根機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅲ			2	
			理科教育法IV			2	

[・]教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 24単位

20単位

[・]教員の免許状取得のための選択科目

[平成 30 (2018) 年度以前入学生]

免許法に定める科目区分等			本学の開講科目					
	最低	修得	授 業 科 目	単	年			
科 目			◎印:免許状取得に必要な必修科目		次	備考		
	中	高		数				
物理学	1	1	◎物理学 I	2	1			
			◎物理学Ⅱ	2	1			
化学	1	1	◎化学 I	2	1			
			◎化学Ⅱ	2	1			
			機器分析学	2	2			
生物学	1	1	◎生物学 I	2	1			
			◎生物学Ⅱ	2	1			
			動物学	2	1			
			動物機能形態学	2	2			
			実験動物学Ⅰ	2	2			
			実験動物学Ⅱ	2	2			
			動物寄生虫学	2	3			
			生態学	2	2			
地学	1	1	◎地学 I	2	1			
			◎地学Ⅱ	2	1			
物理学実験	1	1	◎物理学実験	1	2	コンピュータ活用を含む。		
(コンピュータ活用を含む。)								
化学実験	1		◎化学実験	1	2	コンピュータ活用を含む。		
(コンピュータ活用を含む。)								
生物学実験	1		◎生物学実験	1	2	コンピュータ活用を含む。		
(コンピュータ活用を含む。)			動物機能形態学実習	1	2			
			実験動物学実習	1	2			
地学実験	1	1	◎地学実験	1	2	コンピュータ活用を含む。		
(コンピュータ活用を含む。)								
合 計	2 0	2 0	上記科目より20単位以上修得すること。	1	P.	I		

別表5 (第15条関係) (養護に関する科目及び履修要件)

看護学部看護学科における、教育職員免許状施行規則に定める養護に関する科目に対応する本学 の授業科目は次のとおりである。

[平成 31 (2019) 年度入学生~令和 3年 (2021) 年度入学生]

t) II	友が口い会はファー	最低		単何	立数	
科目区分	各科目に含めること が必要な事項	取得 単位数	授業科目	必	選	備考
			いのちと生活Ⅱ(疫学)	2		
	衛生学・公衆衛生学	4	公衆衛生看護学概論 I	1		
	(予防医学を含む。)	4	感染看護学	1		
	学校保健	2	公衆衛生看護方法論IV(学校保健)	2		
	養護概説	2	公衆衛生看護学概論 II (養護概 説)	2		
	健康相談活動の理		公衆衛生看護方法論 I		2	「公衆衛生看護方法 論 I 」、「公衆衛生
	論・健康相談活動の 方法	2	公衆衛生看護方法論Ⅲ		2	看護方法論Ⅲ」より 2単位選択必修
養護	栄養学(食品学を含む。)	2	いのちと生活 I (栄養学)	2		
に	解剖学・生理学	0	からだの構造と機能 I (解剖学)	1		
関		2	からだの構造と機能Ⅱ(生理学)	2		
す	「微生物学、免疫	9	いのちのしくみⅡ(微生物学)	1		
。 る	学、薬理概論」	2	健康の回復促進Ⅱ(薬理学)	2		
科	V =	2	精神看護学概論	1		
	精神保健		精神看護援助論Ⅱ	1		
			基盤看護学概論	2		
			看護理論	2		
			小児看護学概論	1		
			母性看護学概論	1		
			小児看護援助論 I	1		
	看護学(臨床実習及び	1.0	小児看護援助論Ⅱ	1		
	救急処置を含む。)	1 0	基盤看護学実習I	1		
			基盤看護学実習Ⅱ	2		
			在宅看護学概論	1		
			在宅看護援助論 I	1		
			成人急性期看護援助論 I	1		
			成人急性期看護援助論Ⅱ	1		

[・]教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)

³⁵単位

[・]教員の免許状取得のための選択科目

免許法に定める科目区分等		本学の開講科目					
科目	最低 修得	授 業 科 目 ◎印:免許状取得に必要な必修科目	単位	年	備考		
	単位数	〇印:免許状取得に必要な選択必修科目	数	次			
衛生学及び公衆衛生学	4	◎いのちと生活Ⅱ (疫学)	2	2			
(予防医学を含む。)		◎公衆衛生看護学概論 I	1	2			
		◎感染看護学	1	3			
学校保健	2	◎公衆衛生看護方法論Ⅳ	2	3			
		(学校保健)					
養護概説	2	◎公衆衛生看護学概論Ⅱ	2	2			
		(養護概説)					
健康相談活動の理論及び方法	2	○公衆衛生看護方法論 I	2	2	選択必修科目中1科目選		
		○公衆衛生看護方法論Ⅲ	2	3	択し、修得すること		
栄養学(食品学を含む。)	2	◎いのちと生活 I (栄養学)	2	1			
解剖学及び生理学	2	◎からだの構造と機能 I (解剖学)	1	1			
		◎からだの構造と機能Ⅱ (生理学)	2	1			
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	◎いのちのしくみⅡ(微生物学)	1	1			
		◎健康の回復促進Ⅱ (薬理学)	2	2			
精神保健	2	◎精神看護学概論	1	2			
		◎精神看護援助論Ⅱ	1	3			
看護学	1 0	◎基盤看護学概論	2	1			
(臨床実習及び救急処置を含む。)		◎看護理論	2	1			
		◎小児看護学概論	1	2			
		◎母性看護学概論	1	2			
		◎小児看護援助論 I	1	2			
		◎小児看護援助論Ⅱ	1	3			
		◎基盤看護学実習 I	1	1			
		◎基盤看護学実習Ⅱ	2	2			
		◎在宅看護学概論	1	2			
		◎在宅看護援助論 I	1	2			
		◎成人急性期看護援助論 I	1	2			
		◎成人急性期看護援助論Ⅱ	1	3			
合 計	2 8	上記科目より35単位以上修得すること。					
		※免許法が定める必要合計単位数は28単位	ですか	、本	学における必要合計単位数		
		は35単位となります。					

別表 6 (第15条関係)(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目に対応する本学の授業科目と単位数)

教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目		本学の開講科目				
	単		単	年		
科目	位	授業科目	位	次	備考	
	数		数			
日本国憲法	2	日本国憲法	2	1		
体育	2	健康の科学	2	1	スポーツ実技は必ず修得	
		スポーツ実技	1	1	すること。	
外国語コミュニケーション	2	実用英会話 I	1	2		
		実用英会話Ⅱ	1	2		
情報機器の操作	2	情報リテラシー	2	1	危機管理学部	
		情報処理入門	2	1	薬学部(2018 年度入学生	
					まで)	
		健康と社会の仕組みIV(情報危機管	2	1	看護学部	
		理)				
合計	8					

別表7の1 (第16条関係) (博物館学芸員に関する科目(必修科目)及び履修要件)

1 博物館に関する科目に対応する本学の授業科目のうち必修科目は次のとおりである。 [平成 31 (2019) 年度入学生以降]

危機管理学部 動物危機管理学科

博物館法施行規則に		単位	立数	時間	引数	/+tr.+tz
定める指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
生涯学習概論	生涯学習論	2		3 0		
博物館概論	博物館概論	2		3 0		
博物館経営論	博物館経営論	2		3 0		
博物館資料論	博物館資料論	2		3 0		
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2		3 0		
博物館展示論	博物館展示論	2		3 0		すべて修得すること
博物館教育論	博物館教育論	2		3 0		
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2		3 0		
h	博物館実習 I		2		6 0	
博物館実習	博物館実習Ⅱ		1		3 0	
小 計		1 6	3	2 4 0	9 0	

博物館法施行規則に	十二年 10日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日	単位	位数	時	間数	/# . **.
定める指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
生涯学習概論	生涯学習論	2		3 0		
博物館概論	博物館概論	2		3 0		
博物館経営論	博物館経営論	2		3 0		
博物館資料論	博物館資料論	2		3 0		すべて修得すること
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2		3 0		
博物館展示論	博物館展示論	2		3 0		
博物館教育論	博物館教育論	2		3 0		

博物館情報・メディア論 博物館情報・	メディア論 2		3 0	
博物館実習 博物館実習		3		9 0
小 計	1 6	3	2 4 0	9 0

2 「博物館実習」を履修する学生は、次の要件を充足するものとする。

授業科目	履修要件
博物館実習	(1) 博物館に関する科目のうち、「博物館概論」「博物館資料論」「博物館展示論」を含めて必修
	科目7科目14単位以上修得していること。
	(2) 学科が専攻科目として開講している「動物学」「環境科学」「地域環境保全論」「生態学」
	「生物多様性保全学」の5科目10単位のうち、2科目4単位以上修得しておくこと。
	(3) 前2号については3年次秋学期の成績(再試験の結果は含めない)に基づいて判定する。
	(4) 懲戒処分を受けていないこと。
	(5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。

別表7の2 (第16条関係) (博物館学芸員に関する科目(選択科目))

1 博物館に関する科目に対応する本学の授業科目のうち選択科目は次のとおりである。

[平成 31 (2019) 年度入学生以降]

危機管理学部 動物危機管理学科

化类型点的目	七 类の田準科目	単位数		時間数		/#- #4
任意設定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
	動物学	2		3 0		
	生物多様性保全学	2		3 0		2科目4単位以上を修得す
	生態学	2		3 0		ること
小 計		6		9 0		

化类型点数目	七 类の開業が日	単位	位数	時	間数	/#- **
任意設定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
	動物学	2		3 0		
	生態学	2		3 0		2科目4単位以上を修得する
	生物多様性保全学	2		3 0		こと
小 計		1 0		150		

別表8 (第17条関係) (臨床工学技士指定科目及び履修要件)

1 臨床工学技士法第14条第4号に基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和5(2023)年度入学生以降 履修要件]

システム工学

生体物性工学

医用材料工学

医用機器学概論 I

医用機器学概論Ⅱ

生体物性工学

医用材料工学

医用機器学概

2

2

2

2

2

松合利用	松米以口力	単位	立数	#\d=\1\	松米 17 口 万	単位数	
指定科目	授業科目名	講義	実習	- 指定科目 -	授業科目名	講義	実習
解剖学	解剖学	2		医用治療機器	医用治療機器学	2	
丹午 ロリーナー	解剖学実習		1	学	医用治療機器学実習		1
	生理学	2		生体計測装置	医用生体計測装置学	2	
生理学	生理学実習		1	学	医用生体計測装置学実 習		1
生化学	生化学	2		臨床支援技術	臨床支援技術学	2	
医学概論	三兴八曲年上兴斯 孙	0		学	臨床支援技術学演習	1	
公衆衛生学	医学·公衆衛生学概論	2			生体機能代行装置学 I	2	
病理学	病理学	2			生体機能代行装置学Ⅱ	2	
薬理学	薬理学·病態薬理学	2			生体機能代行装置学Ⅲ	2	
免疫学	免疫学概論	2			生体機能代行装置学実 習 I		1
チーム医療概 論	チーム医療概論	2		生体機能代行	生体機能代行装置学実 習 II		1
関係法規	医療関係法規	2		技術学	生体機能代行装置学実 習Ⅲ		1
	応用数学	2			生体機能代行装置学総	2	
応用数学	応用数学演習	2			合演習 I	2	
	理工学数学演習	2			生体機能代行装置学総	2	
電気工学	電気·電子工学 I	2			合演習Ⅱ	2	
电刈上子	電気·電子工学実験 I		1		医用機器安全管理学 I	2	
	電気·電子工学Ⅱ	2		医療安全管理学	医用機器安全管理学Ⅱ	2	
電子工学	電気·電子工学実験Ⅱ		1	了	医用機器安全管理学実 習		1
機械工学	医用機械工学	2			臨床病態学 I	1	
	(理工学数学演習)	_	-		臨床病態学Ⅱ	1	
計測工学	計測工学	2		防庄医学绘验	臨床病態学Ⅲ	1	
	医用工学·情報科学概論	2		臨床医学総論	臨床工学総合演習 I	2	
	医用工学実習		1		臨床工学総合演習Ⅱ	2	
医用工学	理工学演習 I	2			ı		
	理工学演習Ⅱ	2					
	医療機器学演習		1	4			

その他	授業科目名	単位 数
上記科目における	臨床実習前後技能知 識到達度評価	2
臨地実習	臨床工学臨床実習	5

[令和2 (2020) ~令和4 (2022) 年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数	備考
公衆衛生学			
医学概論	医学概論・公衆衛生学	1	
解剖学	解剖生理学 I	1	
生理学	解剖生理学Ⅱ	1	
工年 1	解剖生理学Ⅲ	1	
	解剖学実習	1	
	生理学実習	1	
病理学	病理学I	1	
	病理学Ⅱ	1	
生化学	生化学 I	1	
	生化学Ⅱ	1	
薬理学	薬理学	1	
免疫学	免疫学	1	
看護学概論	看護学概論	1	
応用数学	基礎統計学	2	「応用数学」、「応用数学演習」のほか、
	理工学数学演習	2	「基礎統計学」、「理工学数学演習」から
	応用数学	2	2単位以上修得すること。
	応用数学演習	2	
医用工学	医用工学概論	1	
	医用工学実習	1	
電気工学	電気・電子工学 I	1	
電子工学	電気・電子工学実験 I	1	
₽1 <u></u> 工丁	電気・電子工学Ⅱ	1	
	電気・電子工学実験Ⅱ	1	
物性工学	生体物性工学	1	
機械工学	医用機械工学	1	
材料工学	医用材料工学	1	
計測工学	計測工学	1	
医用機器学概論	医用機器学概論 I	1	
	医用機器学概論 Ⅱ	1	
生体機能代行装置学	生体機能代行装置学 I	1	
	生体機能代行装置学実習 I	1	
	生体機能代行装置学Ⅱ	1	
	生体機能代行装置学実習Ⅱ	1	
	生体機能代行装置学Ⅲ	1	
	生体機能代行装置学実習Ⅲ	1	
	生体機能代行装置学総合演習	2	
医用治療機器学	医用治療機器学	1	
	医用治療機器学実習	1	
生体計測装置	医用生体計測装置学	1	

	医用生体計測装置学実習	1	
医用機器安全管理学	医用機器安全管理学 I	1	
	医用機器安全管理学Ⅱ	1	
	医用機器安全管理学実習	1	
臨床医学総論	臨床病態学 I	1	
	臨床病態学Ⅱ	1	
	臨床病態学Ⅲ	1	
	臨床工学総合演習 I	2	
	臨床工学総合演習Ⅱ	2	
関係法規	関係法規	1	
臨床実習	臨床工学臨床実習	4	

[平成 31 (2019) 年度以前入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数	備考
公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	
医学概論	医学概論	2	
解剖学	解剖学 I	2	
	解剖学Ⅱ	2	
生理学	生理学 I	2	
	生理学Ⅱ	2	
	基礎医学実習	1	
病理学	病理学 I	2	
	病理学Ⅱ	2	
生化学	生化学 I	2	
	生化学Ⅱ	2	
薬理学	薬理学	2	
免疫学	免疫学	2	
看護学概論	看護学	2	
応用数学	実用数学	2	「応用数学」、「応用数学演習」のほか、
	実用数学演習	2	「実用数学」、「実用数学演習」、「基礎統
	基礎統計学	2	計学」、「応用統計学」から4単位以上修
	応用統計学	2	得すること。
	応用数学	2	
	応用数学演習	2	
医用工学	医用工学概論	2	
	医用工学実習	1	
電気工学	電気・電子工学I	2	
電子工学	電気・電子工学実験 I	1	
	電気・電子工学Ⅱ	2	
	電気・電子工学実験Ⅱ	1	
物性工学	生体物性工学	2	

機械工学	医用機械工学	2	
材料工学	医用材料工学	2	
計測工学	計測工学	2	
	計測工学演習	2	
医用機器学概論	医用機器学概論 I	2	
	医用機器学概論Ⅱ	2	
生体機能代行装置学	生体機能代行装置学 I (代謝)	3	
	生体機能代行装置学実習 I (代謝)	1	
	生体機能代行装置学Ⅱ (呼吸)	3	
	生体機能代行装置学実習Ⅱ (呼吸)	1	
	生体機能代行装置学Ⅲ(循環)	3	
	生体機能代行装置学実習Ⅲ(循環)	1	
医用治療機器学	医用治療機器学	2	
	医用治療機器学実習	1	
生体計測装置	医用生体計測装置学	2	
	医用生体計測装置学実習	1	
医用機器安全管理学	医用機器安全管理学 I	2	
	医用機器安全管理学Ⅱ	2	
	医用機器安全管理学実習	1	
臨床医学総論	臨床病態学 I	2	「放射線医学」は選択とする。
	臨床病態学Ⅱ	2	
	臨床病態学Ⅲ	2	
	放射線医学	1	
	臨床工学総合演習 I	2	
	臨床工学総合演習Ⅱ	2	
関係法規	臨床工学関係法規	1	
臨床実習	臨床工学臨床実習	4	

2 「臨床工学臨床実習」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

授業科目	履修要件
臨床工学臨床実習	(1)「卒業研究」を除く卒業要件(単位)を修得していること。
	(2)「臨床工学臨床実習」を除く本学が定める国家試験の受験資格に必要な3年次までの
	単位を修得し、4年次に開講される国家試験の受験資格に必要な科目を履修している
	こと。
	(3) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。
	(4) 懲戒処分による停学期間中でないこと。
	(5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)

- 注1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。
- 注 2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点 と単位認定を臨地実習委員会が行う。

別表9の1 (第18条関係) (臨床検査技師指定科目)

臨床検査技師等に関する法律施行令第 18 条第 3 号及び第 4 号の規程に基づき厚生労働大臣が定める科目は次のとおりである。

[令和4(2022)年度入学生以降 履修要件]

		単位数				単信	立数
指定科目	授業科目名	講義	実習	指定科目	授業科目名	講義	実習
	臨床検査医学総論	2			免疫学概論	2	
	解剖学	2		免疫検査学	免疫検査学	2	
	解剖学実習		1		免疫検査学実習		1
	生理学	2			遺伝子関連・染色体検査	2	
	生理学実習生化学	2	1	遺伝子関連· 染色体検査学	学		
	生化学実習	_	1	来它体恢复于	遺伝子関連·染色体検査 学実習		1
					輸血·移植検査学	2	
病態学	チーム医療概論	2		輸血·移植検 査学	輸血·移植検査学実習		1
	薬理学·病態薬理学	2			輸血・移植検査学演習	1	
	栄養学·臨床栄養学	2			朝山·移惟快宜子俱百	1	
	病理学	2			微生物検査学 I	2	
	7,722.3				微生物検査学Ⅱ	2	
	微生物学概論	2		微生物検査学	微生物検査学実習		1
	医学·公衆衛生学概論	2					
公衆衛生学	医療関係法規	2			微生物検査学演習	1	
					生理検査学 I	2	
	医用工学·情報科学概論	2			生理検査学Ⅱ	2	
医用工学概論	検査機器総論	2		(LeggleA -t- W)	生理検査学Ⅲ	2	
	医用工学実習		1	生理検査学	生理検査学実習 I		1
	血液検査学	2		1	生理検査学実習Ⅱ		1
1. Note 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	血液検査学実習I		1	1	生理検査学演習 I	1	
血液検査学	血液検査学実習Ⅱ		1		生理検査学演習Ⅱ	1	
	血液検査学演習	1			検査管理総論	2	
	病理検査学	2		臨床検査総合	検査精度管理論	2	
	臨床細胞学総論 I	2		管理学	臨床検査総合演習 I	1	
病理検査学	病理検査学実習		1	1	臨床検査総合演習Ⅱ	1	
		1			医療安全管理学	2	

尿·糞便等一	一般検査学·寄生虫検査 学	2	
般検査学	一般検査学·寄生虫検査 学実習		1
	生化学検査学 I	2	
	生化学検査学Ⅱ	2	
生化学検査学	生化学検査学実習		1
	生化学検査学·免疫検査 学演習	1	

医療安全管理 学 医療安全管理学実習	1
-----------------------	---

その他	授業科目名	単位 数
上記科目にお	臨地実習前技能修得到達度評価	1
ける臨地実習	臨床検査臨地実習	11

臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第3号ニに基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和2 (2020) 年度~令和3 (2021) 年度入学生 履修要件]

15.44V D		単位数		実時間		/## +V.
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
医学概論	医学概論・公衆衛生学	1		3 0		
解剖学	解剖生理学 I	1		3 0		
生理学	解剖生理学Ⅱ	1		3 0		
	解剖生理学Ⅲ 解剖学実習	1	1	3 0	4 5	
	生理学実習		1		4 5	
病理学	病理学 I	1		3 0		
	病理学Ⅱ	1		3 0		
	病理検査学	1	_	3 0		
	病理検査学実習		1		4 5	
生化学	生化学 I	1		3 0		
	生化学Ⅱ	1	_	3 0		
	生化学実習		1		4 5	
微生物学	微生物学	1		3 0		
	微生物検査学	1		3 0		
	微生物検査学実習		1		4 5	
医動物学	医動物学	1		3 0		
	微生物・医動物学実習		0.5		22.5	
情報科学概論	情報リテラシー	2		3 0		
検査機器総論	検査機器総論	1.5		4 5		
医用工学概論	医用工学概論	1		3 0		
	医用工学実習		1		4 5	
臨床血液学	血液検査学 I	1		3 0		
	血液検査学Ⅱ	1		3 0		
	血液検査学実習I		1		4 5	
	血液検査学実習Ⅱ		1		4 5	

陈古名広兴	免疫学	1		2.0		
臨床免疫学	光授子	1		3 0		
	免疫検査学 I	1		3 0		
	免疫検査学Ⅱ	1		3 0		
	免疫検査学実習 I		1		4 5	
	免疫検査学実習Ⅱ		1		4 5	

[平成 31 (2019) 年度以前入学生 履修要件]

lla de Al E	L W - 111-11-61 -	単化	単位数		寺間	/#L - #4
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
医学概論	医学概論	2		3 0		
解剖学	解剖学 I	2		3 0		
	解剖学Ⅱ	2		3 0		
	解剖学実習		1		4 5	
生理学	生理学 I	2		3 0		
	生理学Ⅱ	2		3 0		
	生理学実習		1		4 5	
病理学	病理学 I	2		3 0		
	病理学Ⅱ	2		3 0		
	病理検査学	2		3 0		
	病理検査学実習		1		4 5	
生化学	生化学 I	2		3 0		
	生化学Ⅱ	2		3 0		
	生化学実習		1		4 5	
微生物学	微生物学	2		3 0		
	微生物検査学I	2		3 0		
	微生物検査学Ⅱ	2		3 0		
	微生物検査学実習		1		4 5	
医動物学	医動物学	2		3 0		
	微生物・医動物学実習		1		4 5	
情報科学概論	情報リテラシー	2		3 0		
検査機器総論	検査機器総論 I	2		3 0		
	検査機器総論Ⅱ	2		3 0		
医用工学概論	医用工学概論	2		3 0		
	医用工学実習		1		4 5	
臨床血液学	血液検査学 I	2		3 0		
	血液検査学Ⅱ	2		3 0		
	血液検査学実習I		1		4 5	この他に臨地実習を1単位
	血液検査学実習Ⅱ		1		4 5	(45時間)行う
臨床免疫学	免疫学	2		3 0		
	免疫検査学 I	2		3 0		
	免疫検査学Ⅱ	2		3 0		
	免疫検査学実習 I		1		4 5	この他に臨地実習を1単位
	免疫検査学実習Ⅱ		1		4 5	(45時間)行う

別表9の2(第18条関係)(臨床検査技師生理検査及び採血に関する科目及び履修要件)

1 臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第3号の規定に基づき厚生労働大臣が定める生理学的検査及び採血に関する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和2 (2020) ~令和3 (2021) 年度入学生 履修要件]

		単位数		実時間		
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
医用工学概論	医用工学概論	1		3 0		
	医用工学実習		1		4 5	
臨床検査学総論	臨床検査学総論 I	1		3 0		
	臨床検査学総論Ⅱ	1		3 0		
	臨床検査学総論実習		1		4 5	
	関係法規	1		3 0		
	医学概論・公衆衛生学	1		3 0		
	遺伝子検査学	1		3 0		
	遺伝子検査学実習		1		4 5	
	臨床検査学総合演習 I	2		3 0		
	臨床検査学総合演習Ⅱ	2		3 0		
臨床生理学	生理機能検査学 I	1		3 0		
	生理機能検査学Ⅱ	1		3 0		
	生理機能検査学実習 I		1		4 5	
	生理機能検査学実習Ⅱ		1		4 5	
臨床化学	生化学分析検査学I	1		3 0		
	生化学分析検査学Ⅱ	1		3 0		
	生化学分析検査学実習 I		1		4 5	
	生化学分析検査学実習Ⅱ		1		4 5	
放射性同位元素検査 技術学	放射化学	1		3 0		
医療安全管理学	医療安全管理学と実習	1		2 0	1 6	実習15時間を含む
備考	臨床検査臨地実習		5		2 2 5	

[平成 30~31 (2018~2019) 年度入学生 履修要件]

150 ch 471 E		単位数		実時間		/#: -+/	
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考	
臨床生理学	生理機能検査学 I	2		3 0			
	生理機能検査学Ⅱ	2		3 0			
	生理機能検査学Ⅲ	2		3 0			
	生理機能検査学実習 I		1		4 5	この他に臨地実習を1単位	
	生理機能検査学実習Ⅱ		1		4 5	(45時間) 行う	
臨床化学	生化学分析検査学I	2		3 0			
	生化学分析検査学Ⅱ	2		3 0			
	生化学分析検査学実習 I		1		4 5	この他に臨地実習を1単位	
	生化学分析検査学実習Ⅱ		1		4 5	(45時間) 行う	

放射性同位元素検査 技術学	放射化学	2		3 0		
医療安全管理学	医療安全管理学	2		3 0		
	医療安全管理学実習		1		4 5	
医用工学概論	医用工学概論	2		3 0		
	医用工学実習		1		4 5	
臨床検査学総論	臨床検査学総論 I	2		3 0		
	臨床検査学総論Ⅱ	2		3 0		
	臨床検査学総論実習		1		4 5	
	臨床検査関係法規	2		3 0		この他に監禁の事項 2.1 光片
	衛生学・公衆衛生学	2		3 0		この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う
	遺伝子検査学	2		3 0		(40時間)1リ
	遺伝子検査学実習		1		4 5	
	臨床検査学総合演習 I	2		3 0		
	臨床検査学総合演習Ⅱ	2		3 0		
備考	臨床検査臨地実習		5		2 2 5	

[平成 28~29 (2016~2017) 年度入学生 履修要件]

115 day 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		単位数		実時間		/#: +z.	
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考	
臨床生理学	生理機能検査学 I 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学実習 I 生理機能検査学実習 Ⅱ	2 2 2	1 1	3 0 3 0 3 0	4 5 4 5	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う	
臨床化学	生化学分析検査学 I 生化学分析検査学 II 生化学分析検査学実習 I 生化学分析検査学実習 II	2 2	1 1	3 0	4 5 4 5	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う	
放射性同位元素検査技術学	放射化学	2		3 0			
医療安全管理学	医療安全管理学 医療安全管理学実習	2	1	3 0	4 5		
医用工学概論	医用工学概論 医用工学実習	2	1	3 0	4 5		
臨床検査学総論	臨床検査学総論 I 臨床検査学総論 II 臨床検査学総論実習 臨床検査関係法規 衛生学・公衆衛生学	2 2 2 2	1	3 0 3 0 3 0 3 0	4 5	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う	
備考	臨床検査臨地実習		5		2 2 5		

[平成27 (2015) 年度以前入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		/#* **
		講義	実習	講義	実習	備考
臨床生理学	生理機能検査学 I	2		3 0		
	生理機能検査学Ⅱ	2		3 0		
	生理機能検査学Ⅲ	2		3 0		
	生理機能検査学実習 I		1		4 5	この他に臨地実習を1単位
	生理機能検査学実習Ⅱ		1		4 5	(45時間)行う
臨床化学	生化学分析検査学 I	2		3 0		
	生化学分析検査学Ⅱ	2		3 0		
	生化学分析検査学実習 I		1		4 5	この他に臨地実習を1単位
	生化学分析検査学実習Ⅱ		1		4 5	(45時間) 行う
放射性同位元素検査	放射化学	2		3 0		
技術学	RI検査学実習		1		4 5	
医用工学概論	医用工学概論	2		3 0		
	医用工学実習		1		4 5	
臨床検査学総論	臨床検査学総論 I	2		3 0		
	臨床検査学総論Ⅱ	2		3 0		
	臨床検査学総論実習	2		0.0	4 5	この他に臨地実習を1単位
	臨床検査関係法規	2	1	3 0	10	(45時間)行う
	衛生学・公衆衛生学	2		3 0		
備考	臨床検査臨地実習		5		2 2 5	

2 「臨床検査臨地実習」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

「令和4 (2022) 年度以降入学生 履修要件]

授業科目	履修要件
臨床検査臨地実習	(1)「卒業研究」または「課題研究」を除く卒業要件(単位)を修得していること。
	(2) 本学が定める国家試験の受験資格に必要な3年次までの単位を修得していること。
	(3) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。
	(4) 懲戒処分による停学期間中でないこと。
	(5) 臨地実習が実施できる健康状態であること。注 1)

- 注1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。
- 注 2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点 と単位認定を臨地実習委員会が行う。

[令和3(2021)年度以前入学生 履修要件]

授業科目	履修要件
臨床検査臨地実習	(1)「卒業研究」を除く卒業要件(単位)を修得していること。
	(2)「臨床検査臨地実習」を除く本学が定める国家試験の受験資格に必要な3年次までの
	単位を修得し、4年次に開講される国家試験の受験資格に必要な科目を履修している
	こと。
	(3) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。
	(4) 懲戒処分による停学期間中でないこと。
	(5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)

- 注1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。
- 注 2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点 と単位認定を臨地実習委員会が行う。

別表10 (第19条関係) (救急救命士指定科目及び履修要件)

1 救急救命士法第34条第3号に基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和5 (2023) 年度以降入学生 履修要件]

在中型 口	大学の開建が口	単位	立数	実	/+++7	
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	一 備 考
t) who (40° (1 3))	医学・公衆衛生学概論	2		3 0		社会保障•社
公衆衛生学	看護学概論	2		3 0		会福祉を含む
解剖学	解剖学	2		3 0		
生理学	生理学	2		3 0		
薬理学	薬理学・病態薬理学	2		3 0		
病理学	病理学	2		3 0		
生化学	生化学	2		3 0		
微生物学	微生物学概論	2		3 0		
	臨床内科学 I	1		3 0		
	臨床內科学Ⅱ	1		3 0		
	臨床內科学Ⅲ	1		3 0		
内科学	臨床內科学IV	1		3 0		
	臨床內科学V	1		3 0		
	臨床內科学VI	1		3 0		
	臨床內科学Ⅶ	1		3 0		
	臨床內科学Ⅷ	1		3 0		
	臨床内科学IX	1		3 0		
	救急医学概論 I	1		3 0		
	救急医学概論 Ⅱ	1		3 0		
	医学検査	1		3 0		
	救急処理総論	2		6 0		
	救急処理各論	2		6 0		
外科学	救急・災害医療	1		3 0		
	臨床外科学 I	2		6 0		
	臨床外科学Ⅱ	2		6 0		
	臨床外科学Ⅲ	1		3 0		
	臨床外科学IV	1		3 0		
	一般救急救命	1		3 0		
小児科学	小児科学	1		3 0		
産婦人科学	産婦人科学	1		3 0		
整形外科学	整形外科学	1		3 0		

脳外科学	脳外科学	1		3 0		
精神医学	精神医学	1		3 0		
放射線医学	放射線医学	1		3 0		
	シミュレーション I		3		1 3 5	
	シミュレーションⅡ		3		1 3 5	
院占生羽	シミュレーションⅢ		3		1 3 5	
臨床実習	シミュレーションIV		3		1 3 5	
	病院内実習		1 0		4 5 0	
	救急車同乗実習		3		1 3 5	

[令和2 (2020) ~令和4 (2022) 年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		filts also
		講義	実習	講義	実習	備考
公衆衛生学	医学概論・公衆衛生学	1		3 0		
	看護学概論	1		3 0		
解剖学	解剖生理学 I	1		3 0		
	解剖生理学Ⅱ	1		3 0		
生理学	解剖生理学Ⅲ	1		3 0		
薬理学	薬理学	1		3 0		
病理学	病理学 I	1		3 0		
	病理学Ⅱ	1		3 0		
生化学	生化学 I	1		3 0		
	生化学Ⅱ	1		3 0		
微生物学	微生物学	1		3 0		
内科学	臨床内科学 I	1		3 0		
	臨床内科学Ⅱ	1		3 0		
	臨床内科学Ⅲ	1		3 0		
	臨床内科学IV	1		3 0		
	臨床内科学V	1		3 0		
	臨床内科学VI	1		3 0		
	臨床内科学Ⅶ	1		3 0		
	臨床内科学Ⅷ	1		3 0		
	臨床内科学IX	1		3 0		
外科学	救急医学概論 I	1		3 0		
	救急医学概論 Ⅱ	1		3 0		
	医学検査	1		3 0		
	救急処理総論	2		6 0		
	救急処理各論	2		6 0		
	救急・災害医療	1		3 0		
	臨床外科学I	2		6 0		
	臨床外科学Ⅱ	2		6 0		
	臨床外科学Ⅲ	1		3 0		

	臨床外科学IV 一般救急救命	1 1		3 0		
小児科学	小児科学	1		3 0		
産婦人科学	産婦人科学	1		3 0		
整形外科学	整形外科学	1		3 0		
脳外科学	脳外科学	1		3 0		
精神医学	精神医学	1		3 0		
放射線医学	放射線医学	1		3 0		
臨床実習	シミュレーション I シミュレーションⅢ シミュレーションⅢ シミュレーションⅣ 病院内実習 救急車同乗実習		3 3 3 10 3		1 3 5 1 3 5 1 3 5 1 3 5 4 5 0 1 3 5	

[平成 29~31 (2017~2019) 年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		
		講義	実習	講義	実習	備考
公衆衛生学	医学概論	2		3 0		
	看護学	2		3 0		
	衛生学・公衆衛生学	2		3 0		
解剖学	解剖学 I	2		3 0		
	解剖学Ⅱ	2		3 0		
生理学	生理学 I	2		3 0		
	生理学Ⅱ	2		3 0		
薬理学	薬理学	2		3 0		
病理学	病理学 I	2		3 0		
	病理学Ⅱ	2		3 0		
生化学	生化学 I	2		3 0		
	生化学Ⅱ	2		3 0		
微生物学	微生物学	2		3 0		
内科学	臨床内科学 I	1		3 0		
	臨床内科学Ⅱ	1		3 0		
	臨床內科学Ⅲ	1		3 0		
	臨床内科学IV	1		3 0		
	臨床内科学V	1		3 0		
	臨床内科学VI	1		3 0		
	臨床内科学Ⅶ	1		3 0		
	臨床内科学Ⅷ	1		3 0		
	臨床内科学IX	1		3 0		
外科学	救急医学概論 I	1		3 0		
	救急医学概論 Ⅱ	1		3 0		

	医学検査	1		3 0		
	救急処理総論	2		6 0		
	救急処理各論	2		6 0		
	救急・災害医療	1		3 0		
	臨床外科学 I	2		6 0		
	臨床外科学Ⅱ	2		6 0		
	臨床外科学Ⅲ	1		3 0		
	臨床外科学Ⅳ	1		3 0		
	一般救急救命	1		3 0		
小児科学	小児科学	1		3 0		
産婦人科学	産婦人科学	1		1 5		
整形外科学	整形外科学	1		3 0		
脳外科学	脳外科学	1		3 0		
精神医学	精神医学	1		3 0		
放射線医学	放射線医学	1		1 5		
臨床実習	シミュレーションI		3		1 3 5	
	シミュレーションⅡ		3		1 3 5	
	シミュレーションⅢ		3		1 3 5	
	シミュレーションIV		3		1 3 5	
	病院内実習		1 0		4 5 0	
	救急車同乗実習		3		1 3 5	

[平成 28 (2016) 年度入学生 履修要件]

15 ± 51 □	1.W & BB## (V D	単位	立数	実師	寺間	fitteter
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
公衆衛生学	医学概論	2		3 0		
	看護学	2		3 0		
	衛生学・公衆衛生学	2		3 0		
解剖学	解剖学 I	2		3 0		
	解剖学Ⅱ	2		3 0		
生理学	生理学 I	2		3 0		
	生理学Ⅱ	2		3 0		
薬理学	薬理学	2		3 0		
病理学	病理学 I	2		3 0		
	病理学Ⅱ	2		3 0		
生化学	生化学 I	2		3 0		
	生化学Ⅱ	2		3 0		
微生物学	微生物学	2		3 0		
内科学	臨床内科学 I	1		3 0		
	臨床内科学Ⅱ	1		3 0		
	臨床内科学Ⅲ	1		3 0		
	臨床内科学Ⅳ	1		3 0		

监						I .
	ā床內科学 V	1		3 0		
臨	ā床内科学VI	1		3 0		
協	ā床內科学Ⅷ	1		3 0		
	ā床內科学Ⅷ	1		3 0		
臨	ā床内科学IX	1		3 0		
外科学数	t急医学概論 I	1		3 0		
救	t急医学概論 Ⅱ	1		3 0		
医	学検査	1		3 0		
救	(急処理総論	2		6 0		
救	大急処理各論	2		6 0		
救	は急・災害医療	1		3 0		
篇	ā床外科学 I	2		6 0		
臨	床外科学Ⅱ	2		6 0		
臨	床外科学Ⅲ	1		3 0		
臨	ā床外科学Ⅳ	1		3 0		
	般救急救命	1		3 0		
小児科学	児科学	1		3 0		
産婦人科学産	E婦人科学	1		1 5		
整形外科学 整	逐形外科学	1		3 0		
脳外科学 脳	外科学	1		3 0		
精神医学精	青神医学	1		3 0		
放射線医学 放	対線医学	1		1 5		
臨床実習 救	安 命救助法入門		1		4 5	
シ	/ミュレーション I		3		1 3 5	
シ	/ミュレーションⅡ		3		1 3 5	
シ	/ミュレーションⅢ		3		1 3 5	
シ	/ミュレーション I V		2		9 0	
病	院内実習		1 0		4 5 0	
救	7.急車同乗実習		3		1 3 5	

[平成 27 (2015) 年度以前入学生 履修要件]

		単位	拉数	実際	寺間	litte day
指定科目	本学の開講科目	講義	実習	講義	実習	備考
公衆衛生学	医学概論	2		3 0		
	看護学	2		3 0		
	衛生学・公衆衛生学	2		3 0		
解剖学	解剖学 I	2		3 0		
	解剖学Ⅱ	2		3 0		
生理学	生理学 I	2		3 0		
	生理学Ⅱ	2		3 0		
薬理学	薬理学	2		3 0		
病理学	病理学 I	2		3 0		
	病理学Ⅱ	2		3 0		

生化学	生化学 I	2		3 0		
	生化学Ⅱ	2		3 0		
微生物学	微生物学	2		3 0		
内科学	臨床内科学 I	1		3 0		
	臨床內科学Ⅱ	1		3 0		
	臨床内科学Ⅲ	1		3 0		
	臨床内科学IV	1		3 0		
	臨床内科学V	1		3 0		
	臨床内科学VI	1		3 0		
	臨床内科学Ⅶ	1		3 0		
	臨床內科学Ⅷ	1		3 0		
外科学	救急医学概論 I	1		3 0		
	救急医学概論Ⅱ	1		3 0		
	医学検査	1		3 0		
	救急処理総論	2		6 0		
	救急処理各論	2		6 0		
	救急・災害医療	1		3 0		
	臨床外科学 I	2		6 0		
	臨床外科学Ⅱ	2		6 0		
	臨床外科学Ⅲ	1		3 0		
	臨床外科学IV	1		3 0		
	一般救急救命	1		3 0		
小児科学	小児科学	1		3 0		
産婦人科学	産婦人科学	1		1 5		
整形外科学	整形外科学	1		3 0		
脳外科学	脳外科学	1		3 0		
精神医学	精神医学	1		3 0		
放射線医学	放射線医学	1		1 5		
臨床実習	救命救助法入門		1		4 5	
	シミュレーション I		3		1 3 5	
	シミュレーションⅡ		3		1 3 5	
	シミュレーションⅢ		3		1 3 5	
	シミュレーションIV		2		9 0	
	病院内実習		1 0		4 5 0	
	救急車同乗実習		3		1 3 5	

2 「救急車同乗実習」「病院内実習」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

授業科目	履修要件
救急車同乗実習	(1) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。
病院内実習	(2) 懲戒処分による停学期間中でないこと。
	(3) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注 1)

注 1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。

注 2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点 と単位認定を臨地実習委員会が行う。

別表11 (第20条関係) (保健師国家試験指定科目及び履修要件)

1 保健師助産師看護師学校養成所指定規則第2条に基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

			単位	立数	実師	持間
	指定科目	本学の開講科目	講義演習	実習	講義演習	実習
公	公衆衛生看護学概論	基盤看護学概論	2		3 0	
公衆衛生看護学		小児看護学概論	1		1 5	
生		母性看護学概論	1		1 5	
有 護		成人看護学概論	1		1 5	
学		老年看護学概論	1		1 5	
		精神看護学概論	1		1 5	
		在宅看護学概論	1		1 5	
		公衆衛生看護学概論 I	1		1 5	
		公衆衛生看護学概論Ⅱ (養護概説)	2		3 0	
	個人・家庭・集団・組織の支援	小児看護援助論 I	1		3 0	
		小児看護援助論Ⅱ	1		3 0	
		母性看護援助論I	1		3 0	
		母性看護援助論Ⅱ	1		3 0	
	ᄼᇭᄺᄱᆚᅩᆉᅜᆁᄆᄜᅅ	」 成人慢性期看護援助論 I	1		3 0	
	公衆衛生看護活動展開論	成人慢性期看護援助論Ⅱ	1		3 0	
		老年看護援助論 I	1		3 0	
		老年看護援助論Ⅱ	1		3 0	
		精神看護援助論I	1		3 0	
		精神看護援助論Ⅱ	1		3 0	
	公衆衛生看護管理論	在宅看護援助論I	1		3 0	
		在宅看護援助論Ⅱ	1		3 0	
		公衆衛生看護方法論 I	2		3 0	
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	2		3 0	
		公衆衛生看護方法論Ⅲ	2		3 0	
		│ │公衆衛生看護方法論IV(学校保健)	2		3 0	
		公衆衛生看護技術演習 I	2		6 0	
		公衆衛生看護技術演習Ⅱ	2		6 0	
疫学		いのちと生活Ⅱ (疫学)	2		3 0	
/m *+ '	- N/ = A	健康と社会の仕組み II (保健医療統計)	2		3 0	
保健約	在字論	健康と社会の仕組みIV(情報危機管理)	2		3 0	
I D bits Fr		健康と社会の仕組みI(保健福祉行政論)	3		4 5	
保健的	E療福祉行政論	健康と社会の仕組みⅢ(社会福祉論)	1		1 5	
	個人・家庭・集団・組織の支援実	九 ·皮毛		0		0.0
医岩 上山	習	在宅看護学実習		2		90
臨地	八血生生業江利量問外中羽	公衆衛生看護学実習 I		1		4 5
実習	公衆衛生看護活動展開論実習	公衆衛生看護学実習Ⅱ		2		9 0
	公衆衛生看護管理論実習	公衆衛生看護学実習Ⅲ		2		9 0

別表12 (第21条関係) (食品衛生管理者及び食品衛生監視員指定科目)

1 危機管理学部保健医療学科(医療危機管理学科)における食品衛生管理者及び食品衛生監視員の指定科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[平成 29~31 (2017~2019) 年度入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修: © /選択: ○の別 本学最低修得単位数
関 A	分析化学	生化学分析検査学I	2	3	0
関 A 係 群	有機化学	化学Ⅱ	2	1	0
化学	無機化学	化学 I	2	1	0
字		化学実験	1	2	0
В	生物化学	生化学 I	2	1	0
群		生化学Ⅱ	2	1	©
生		生化学実習	1	2	©
生物化学関係	食品化学				
学問	生理学	生理学 I	2	1	©
係		生理学Ⅱ	2	1	©
		生理学実習	1	2	©
	食品分析学				
	毒性学	薬理学	2	2	0
C	微生物学	微生物学	2	2	0
群		微生物検査学 I	2	2	0
微		微生物検査学Ⅱ	2	3	0
微生物学関係		微生物検査学実習	1	3	0
学型		ウイルス感染学	2	2	0
係	食品微生物学	人畜共通感染症学	2	4	0
	食品保存学				
	食品製造学				
学 D 関 群	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	©
係	食品衛生学				
公衆	環境衛生学				
衛生	衛生行政学	臨床検査関係法規	2	3	0
	疫学				
※A群かりで22単位	らD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計 立以上	小計	3 4		30単位
E	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉	放射化学	2	2	©
群	化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質		2	2	©
その	分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家	病理学Ⅱ	2	2	0
の 他	畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物	医学概論	2	1	0
関連	学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、	解剖学 I	2	1	0
他関連科目	医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄	解剖学Ⅱ	2	1	©
目	生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養	解剖学実習	1	2	0
	学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産	血液検査学 I	2	3	0
	品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、	免疫学	2	1	0
	乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工	免疫検査学 I	2	2	0
	学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	遺伝子検査学	2	2	0
		遺伝子検査学実習	1	2	0
		医動物学	2	2	0
		小計	2 4		15単位
*	A群からE群の単位の合計は40単位以上	合計	5 8		計45単位

[平成 28 (2016) 年度以前入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修: © /選択:○の別 本学最低修得単位数
関Δ	分析化学	生化学分析検査学 I	2	3	0
関 A 係 群	有機化学	化学Ⅱ	2	1	0
化学	無機化学	化学 I	2	1	0
学		化学実験	1	2	©
В	生物化学	生化学 I	2	1	0
群		生化学Ⅱ	2	1	0
生		生化学実習	1	2	0
物化	食品化学				
生物化学関係	生理学	生理学 I	2	1	0
係		生理学Ⅱ	2	1	©
		生理学実習	1	2	0
	食品分析学				
	毒性学	薬理学	2	2	0
С	微生物学	微生物学	2	2	©
C 群		微生物検査学 I	2	2	0
微		微生物検査学Ⅱ	2	3	0
生物		微生物検査学実習	1	3	0
微生物学関係		ウイルス感染学	2	2	0
係	食品微生物学	人畜共通感染症学	2	4	0
	食品保存学				
	食品製造学				
学 D 関 群	公衆衛生学	衛生学·公衆衛生学	2	2	0
関 群 係	食品衛生学				
公衆	環境衛生学				
衛	衛生行政学	臨床検査関係法規	2	3	0
生	疫学				
※A群かで22単	らD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計 位以上	小計	3 4		3 0 単位
Е	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉	放射化学	2	2	0
群	化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質	病理学 I	2	2	0
そ	分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家	病理学Ⅱ	2	2	0
の他	畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物	医学概論	2	1	0
他関連科	学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、	解剖学 I	2	1	0
科	医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄	解剖学Ⅱ	2	1	0
目	生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養	解剖学実習	1	2	0
	学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産	血液検査学 I	2	3	0
	品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、	免疫学	2	1	©
	乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工	免疫検査学 I	2	2	0
	学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	遺伝子検査学	2	3	0
		遺伝子検査学実習	1	3	0
		医動物学	2	2	0
		小計	2 4		15単位
*	《A群からE群の単位の合計は40単位以上	合計	5 8		計45単位

2 危機管理学部動物危機管理学科における食品衛生管理者及び食品衛生監視員の指定科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和4(2022)年度以降入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修 年次	資格取得の必修: ◎ /選択: ○の別 本学最低修得単位数
関 A	分析化学	機器分析学	2	2	(a)
係群	有機化学	化学Ⅱ	2	1	0
化	無機化学	化学 I	2	1	0
化学	7	化学実験	1	2	©
В	生物化学				
群	食品化学				
生物化学関係	生理学 食品分析学	動物生理学	2	1	0
学	毒性学	トキシコロジー [2	3	0
関 係	,	毒性学実習	1	4	©
С	微生物学	病原体の科学	2	1	0
群	M. T. 10. 1	動物感染症概論	2	1	0
微		動物臨床検査学実習Ⅱ	1	3	©
微生物学関	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	4	0
学	食品保存学) the variable i	_	-	
関係	食品製造学				
	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	0
学 D 関 群	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	©
係	環境衛生学	XIIIX XIII	_		
公 衆 衛	衛生行政学	動物関連法規	2	3	0
	· 疫学	3/7/(//////////////////////////////////			
	らD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計	小計	2 5		2 2 単位
E	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉	海洋動物学	2	2	0
群	化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質	生物海洋学	2	2	0
マ	分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家	動物学	2	1	©
その他関連科目	畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物	産業動物学	2	1	©
関	学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、	動物病理学	2	3	0
連科	医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄	動物機能形態学	2	2	©
目	生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養	動物機能形態学実習	1	2	©
	学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産	動物臨床検査学	2	2	©
	品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、	動物臨床検査学実習I	1	3	©
	乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工	家畜育種学	2	2	0
	学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	動物繁殖学	2	2	0
	于、 区吅队任于、 印水印刷于、 吅具自在于、 守	動物外科実習	1	3	©
		実験動物学 [2	2	0
		実験動物学Ⅱ	2	2	0
		動物疾病学	2	3	0
ı		実験動物学実習	1	2	©
		動物基礎栄養学	2	2	0
ı		新初基礎未養子 畜産物利用学	2	3	0
				J	
		小計	3 2		18単位

[令和 2 (2020) 年度~令和 3 年 (2021) 入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修: ◎ /選択: ○の別 本学最低修得単位数
関 A	分析化学	機器分析学	2	2	0
係群	有機化学	化学Ⅱ	2	1	0
化学	無機化学	化学 I	2	1	0
学		化学実験	1	2	©
В	生物化学				
群	食品化学				
生	生理学	動物生理学	2	1	0
生物化学関係	食品分析学				
学	毒性学	トキシコロジーI	2	3	0
関 係		トキシコロジーⅡ	2	3	0
		毒性学実習	1	4	©
С	微生物学	病原体の科学	2	1	0
群		動物感染症概論	2	1	0
微		動物臨床検査学実習Ⅱ	1	3	©
生物	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	4	0
微生物学関係	食品保存学				
関 係	食品製造学				
学 D	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	0
学 D 関 群	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	0
公	環境衛生学				
「衆 衛	衛生行政学	動物関連法規	2	3	0
生	疫学				
※A群かで22単	・ らD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計 位以上	小計	2 7		2 2 単位
Е	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉	アクアテクノロジーI	2	3	0
群	化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質	海洋動物学	2	2	0
そ	分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家	生物海洋学	2	2	0
Ø	■ 畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物	動物学	2	1	©
他 関 連 科	学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、	産業動物学	2	1	©
. 科	医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄	動物病理学	2	3	0
Ē	生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養	動物機能形態学	2	2	©
	学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産	動物機能形態学実習	1	2	©
	品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、	動物臨床検査学	2	2	©
	乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工	動物臨床検査学実習I	1	3	©
	学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	家畜育種学	2	2	0
		動物繁殖学	2	2	0
		動物外科実習	1	3	0
		実験動物学 I	2	2	0
		実験動物学Ⅱ	2	2	0
		動物疾病学	2	3	©
		実験動物学実習	1	2	©
		動物基礎栄養学	2	2	0
		畜産物利用学	2	3	0
		小計	3 4		18単位
*	・A群からE群の単位の合計は40単位以上	合計	6 1		計40単位

[平成 31 (2019) 年度入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修: © /選択:○の別 本学最低修得単位数
関 A	分析化学	機器分析学	2	2	0
係群	有機化学	化学Ⅱ	2	1	0
化学	無機化学	化学 I	2	1	0
学		化学実験	1	2	0
В	生物化学				
群	食品化学				
生	生理学	動物生理学	2	1	0
物化	食品分析学				
学	毒性学	トキシコロジーI	2	3	0
生物化学関係		トキシコロジーⅡ	2	3	
		毒性学実習	1	4	©
С	微生物学	病原体の科学	2	1	0
群	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	動物感染症概論	2	1	
微		動物臨床檢査学実習Ⅱ	1	3	©
微生物学関係	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	4	0
学	食品保存学	7 14 0 11 21 21 21			
関係	食品製造学				
学 D	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	0
子 群 係	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	©
	環境衛生学	及而女工が行う			
公衆衛	衛生行政学	動物関連法規	2	3	0
解 生	疫学	奶肉是因%			
	らD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計	小計	2 7		2 2 単位
で22単					, ,
E	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉	アクアテクノロジーI	2	3	0
群	化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質	海洋動物学	2	2	0
その	分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家	生物海洋学	2	2	0
他	畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物	動物学	2	1	0
他関連科	学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、	産業動物学	2	1	0
	医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄	動物病理学	2	3	0
目	生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養	動物機能形態学	2	2	0
	学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産	動物機能形態学実習	1	2	0
	品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、	動物臨床検査学	2	2	0
	乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工	動物臨床検査学実習I	1	3	0
	学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	家畜育種学	2	2	0
		動物繁殖学	2	2	0
		動物外科実習	1	3	0
		動物寄生虫学	2	3	0
		実験動物学 I	2	2	0
		実験動物学Ⅱ	2	2	0
		動物疾病学	2	3	0
		実験動物学実習	1	2	©
		動物基礎栄養学	2	2	0
		畜産物利用学	2	3	0
		小計	3 6		18単位
	《A群からE群の単位の合計は40単位以上	合計	6 3		計40単位

[平成 28~30 (2016~2018) 年度入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修 年次	資格取得の必修: © /選択: ○の別 本学最低修得単位数
関 A	分析化学	機器分析学	2	2	0
係群	有機化学	化学Ⅱ	2	1	0
化学	無機化学	化学 I	2	1	0
字		化学実験	1	2	0
В	生物化学				
群	食品化学				
生	生理学	動物生理学	2	1	0
生物化学関係	食品分析学				
学題	毒性学	トキシコロジーI	2	3	0
係		トキシコロジーⅡ	2	3	0
		毒性学実習	1	4	0
С	微生物学	病原体の科学	2	1	0
群		動物感染症概論	2	1	0
微		動物病原体検査学実習	1	3	©
生 物	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	3	0
微生物学関係	食品保存学				
係	食品製造学				
学 D	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	0
学 D 関 群 係	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	0
公公	環境衛生学				
公衆衛	衛生行政学	動物関連法規	2	3	0
生	疫学				
※A群かで22単	らD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計 位以上	小計	2 7		2 2 単位
Е	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉	動物学	2	1	0
群	化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質	産業動物学	2	2	0
そ	分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家	環境と生物	2	3	0
の他関連科	畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物	動物病理学	2	3	0
関	学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、	動物機能形態学	2	2	0
	医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄	動物機能形態学実習	1	2	0
目	生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養	動物臨床検査学	2	2	©
	学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産	動物臨床検査学実習	1	3	©
	品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、	免疫学	2	2	0
	乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工	発生工学	2	2	0
	学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	発生工学実習	1	3	©
		動物寄生虫学	2	3	0
		実験動物学 I	2	2	0
		実験動物学Ⅱ	2	2	0
		動物疾病学	2	3	©
		実験動物学実習	1	2	©
		動物基礎栄養学	2	2	0
		バイオテクノロジー	2	2	0
		小計	3 2		18単位
*	(A群からE群の単位の合計は40単位以上	合計	5 9		計40単位

別表13 (第22条関係) (日本語科目)

授業科目	単位数	時間数	年次	備考
日本語 I	1	3 0	1	日本語を母国語としない学生は日本語科目8単位
日本語Ⅱ	1	3 0	1	を修得すること
日本語Ⅲ	1	3 0	2	
日本語IV	1	3 0	2	
日本語理解 I	1	3 0	1	
日本語理解Ⅱ	1	3 0	1	
日本語表現 I	1	3 0	3	
日本語表現Ⅱ	1	3 0	3	

別表14 (第36条関係) (自由科目)

授業科目	単位数	時間数	年次	備考
救急災害薬学演習	1	3 0	$1\sim6$	薬学部薬学科で開講(2018年度以前入学生)
災害時チーム医療演習	1	3 0	$1\sim6$	薬学部薬学科で開講(2018年度以前入学生)
放射性医薬品の調整と品質管理	1	3 0	$1\sim6$	千葉大学で開催
放射性医薬品を用いたイメージン	1	3 0	$1\sim6$	千葉大学で開催
グ				
専門職連携教育	1	3 0	$1\sim6$	千葉大学で開催
医薬品安全管理演習	1	3 0	$1\sim6$	城西国際大学で開催
福祉看護薬学多職種連携教育演習	1	3 0	$1\sim6$	城西国際大学で開催
九十九里地域医療福祉実践演習	1	3 0	$1 \sim 6$	城西国際大学で開催
薬物乱用防止啓発活動	1	3 0	1~6	千葉科学大学・千葉大学・城西国際大学のそれぞれ
				で開催
医薬品適正使用啓発活動	1	3 0	$1\sim6$	千葉科学大学・千葉大学・城西国際大学共同開催
ドーピング防止啓発活動	1	3 0	1~6	千葉科学大学・千葉大学・城西国際大学共同開催

別表15 (第43条関係) (外部検定試験による単位認定)

外部検定試験	得点等	認定授業科目	区分	単位数	対象学科
TOEIC(IP を含	400~499 点	英語 I	一般基礎科目	1	全学科
む) テスト	500~599 点	英語 I	一般基礎科目	1	全学科
		英語Ⅱ		1	
	600~699 点	英語 I	一般基礎科目	1	全学科
		英語Ⅱ		1	
		実用英会話 I		1	
	700 点以上	英語 I	一般基礎科目	1	全学科
		英語Ⅱ		1	
		実用英会話 I		1	
		実用英会話Ⅱ		1	
日本語能力試験	N1 合格	日本語I	一般基礎科目	1	全学科
		日本語Ⅱ		1	
		日本語Ⅲ		1	
		日本語IV		1	
防災士	認定	消防と防災	危機管理学部	2	全学科
			学部共通基礎科目		

別表16 (第45条関係) (海外研修プログラム)

研修先大学	認定科目及び認定単位数
フィンドリー大学 (米国)	2014年度以降入学生に適用:「実用英会話I」1単位 若しくは
オハイオ州立ライト大学 (米国)	「実用英会話Ⅱ」 1 単位
サンダーランド大学 (英国)	2013 年度以前入学生に適用:「英会話 I 」 2 単位 若しくは
	「英会話Ⅱ」 2 単位
パラナ連邦大学 (ブラジル)	「生活と文化」2単位 若しくは
パラナカトリカ大学(ブラジル)	「世界と日本」 2 単位
致理技術学院(台湾)	
湖西大学 (韓国)	

航空技術危機管理学科航空マネジメントコース

研修先大学	認定科目及び認定単位数
オハイオ州立ライト大学 (米国)	「実用英会話Ⅰ」1単位、「実用英会話Ⅱ」1単位、
フィンドリー大学 (米国)	「英文講読Ⅰ」1単位、「英文講読Ⅱ」1単位、
	「生活と文化」2単位、「世界から見た日本の文化」2単位、
	「外国の歴史」 2 単位、「世界と日本」 2 単位

別表17 (第47条関係) (進級・卒業要件)

1 薬学部薬学科の進級・卒業要件は次のとおりである。

[令和5 (2023) 年度以降の入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	件
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
	生命薬学科目		
専	社会薬学科目		以收到口土
専攻科目	医療薬学科目		必修科目を 16 単位以上
目	臨床薬学科目		10 单位以上
	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格する こと。もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、 J.Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	件
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
Ħ	外国語 I ~IV		
	学部基礎科目		
	物理・化学系薬学		
	科目		
	生命薬学科目		
専	社会薬学科目		NATIO
専攻科目	医療薬学科目		必修科目を
目	臨床薬学科目		52 単位以上
	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

<u>X</u> 11 H V	2付日の安件を両にした単位を修侍しなりればなりない。					
区分	系列	要件				
_	人間と文化					
般	歴史と社会					
基礎	保体					
般基礎科目	科学と実践					
	外国語 I ~Ⅳ					
	学部基礎科目					
	物理・化学系薬学					
	科目					
	生命薬学科目					
専	社会薬学科目		必修科目を			
専攻科目	医療薬学科目		必修符日を 97 単位以上			
目	臨床薬学科目		31 单位以上			
	キャリアアップ科					
	目					
	専門実習科目					
	総合科目					

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	
	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
Ħ	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
	生命薬学科目		
専	社会薬学科目		必修科目を
専攻科目	医療薬学科目		129単位
目	臨床薬学科目		以上
	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目		

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実 習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要 がある。

区分	系列	要	件
— 般	人間と文化 歴史と社会		
般基礎科目	保体		
科目	科学と実践		
-	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
	生命薬学科目		
専	社会薬学科目		必修科目を
専攻科目	医療薬学科目		1 3 1 単位
目	臨床薬学科目		以上
	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目	11単位	
	総合科目		

[※]日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

vi)卒業要件

女口で作	にした単位を修存しる	よりないみな りな	. V · 0	
区分	系列	要件		
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 科学と実践 外国語 I ~IV	1単位以上 1単位以上 2単位以上 2単位 各1単位以上 合計4単位以上 上※	16 単位以上	
専攻科目	学部基礎科目 物理・化学系薬学科 目 生命薬学科目 社会薬学科目 医療薬学科目 臨床薬学科目 キャリアアップ科 目 専門実習科目 総合科目		170単位 以上 必修科目を すべて修得 すること	

- %1 日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IV より日本語 科目 8 単位を修得すること。
- ※2 専攻科目の必修科目 167 単位すべて修得すること (選択科目を3単位以上修得すること)

[令和3 (2021) 年度~令和4年 (2022) 年度の入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

教科目の安件を何にした単位を修行しなり40はなりない。				
区分	系列	要件		
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会			
	保体 科学と実践 外国語 I ~IV			
専攻科目	学部基礎科目 物理·化学系薬学科 目 生命薬学科目 社会薬学科目 医療薬学科目		必修科目を 17単位以上	
E E	キャリアアップ科 目 専門実習科目 総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格すること。もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J.Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、4年次修了までに「福祉学」を 修得しなければならない。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	件
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
Ħ	外国語 I ~IV		
	学部基礎科目		
	物理・化学系薬学		
	科目		
#	生命薬学科目		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		必修科目を
専攻科目	医療薬学科目		49 単位以上
Д	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学		
	科目		
+	生命薬学科目		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		必修科目を
専攻科目	医療薬学科目		94 単位以上
П	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化		
般基礎科目	歴史と社会 保体		
科目	科学と実践		
	外国語 I ~IV		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
#	生命薬学科目		以收到日子。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		必修科目を
専攻科目	医療薬学科目		126単位 以上
	キャリアアップ科		以上
	目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目		

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実 習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要 がある。

区分	系列	要	件
	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
Ħ	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
#	生命薬学科目		以收到口子
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		必修科目を
専攻科目	医療薬学科目		126単位 以上
П	キャリアアップ科		以上
	目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

vi)卒業要件

要件を満たした単位を修得しなけれはならない。				
区分	系列	要	件	
	人間と文化	1単位以上		
_	歴史と社会	1単位以上	10 光体内1	
般	保体	1 単位以上	16 単位以上	
基	科学と実践	必修科目を	「福祉学」を	
般基礎科目	付予し天成	2単位	修得するこ	
目		各1単位以上	と	
	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以		
		上※		
	学部基礎科目			
	物理・化学系薬学科			
	目		>>	
	生命薬学科目		170単位	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		以上	
専攻科目	医療薬学科目		必修科目を	
	キャリアアップ科		すること	
	目		7 2 - 2	
	専門実習科目			
	総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

[令和2 (2020) 年度の入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
Ħ	外国語 I ~IV		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
#	生命薬学科目		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		8 単位以上
専攻科目	医療薬学科目		0 単位以上
П	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格すること。もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、 J.Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、4年次修了までに「福祉学」を 修得しなければならない。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	件
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
Ħ	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理・化学系薬学		
	科目		
#	生命薬学科目		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		30 単位以上
専攻科目	医療薬学科目		30 单位以上
Д	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学		
	科目		
±	生命薬学科目		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		00 景学51 上
専攻科目	医療薬学科目		80 単位以上
П	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
— 般	人間と文化 歴史と社会		
般基礎科目	保体		
目	科学と実践 外国語 I ~IV		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科 目		
审	生命薬学科目		必修科目を
専攻科目	社会薬学科目		北下村日を124単位
科目	医療薬学科目		以上
	キャリアアップ科		<u> </u>
	目		
	専門実習科目	11 単位	
	総合科目		

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実 習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要 がある。

区分	系列	要	件
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	科学と実践		
Ħ	外国語 I ~IV		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
#	生命薬学科目		N 16 10 10 2
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		必修科目を
専攻科目	医療薬学科目		124単位
П	キャリアアップ科		以上
	目		
	専門実習科目	11 単位	
	総合科目		

[※]日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

vi)卒業要件

要件を満たした単位を修得しなければならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化	1 単位以上		
	歴史と社会	1 単位以上		
血	保体	1 単位以上	16 単位以上	
般基礎科目	科学と実践	必修科目を	「福祉学」を	
科	111 C / D	2単位	修得するこ	
目		各1単位以上	٤	
	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以		
		上※		
	学部基礎科目	必修科目を		
		11 単位		
	物理·化学系薬学科	必修科目を		
	目	21 単位	170単位	
	生命薬学科目	必修科目を		
-		20 単位		
専攻	社会薬学科目	17 単位	以此	
攻科目	医療薬学科目	必修科目を	必修科目を すべて修得	
Н	区 原架子件日	34 単位	すること	
	キャリアアップ科	必修科目を	9 0 - 2	
	目	14 単位		
	専門実習科目	11 単位		
	総合科目	必修科目を		
	70011111111111111111111111111111111111	34 単位		

[%]日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成31(2019)年度の入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

久作自り女目を個にした平位を修行しなりがなるりなく。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
般	歴史と社会			
般基礎科目	保体			
科	その他			
Ħ	外国語 I ~Ⅳ			
	学部基礎科目			
	物理·化学系薬学科			
	目			
#	生命薬学科目			
専攻科目	社会薬学科目		8 単位以上	
科目	医療薬学科目		0 单位以上	
П	キャリアアップ科			
	目			
	専門実習科目			
	総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格する こと。または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしく は J. Test 実用日本語検定 575 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、4年次修了までに「福祉学」を 修得しなければならない。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	その他		
Ħ	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理・化学系薬学		
	科目		
由	生命薬学科目		
攻	社会薬学科目		30 単位以上
専攻科目	医療薬学科目		30 单位以上
	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		
般基礎科目	その他		
Ħ	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理・化学系薬学		
	科目		
+	生命薬学科目		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	社会薬学科目		00 景体以上
専攻科目	医療薬学科目		80 単位以上
Р	キャリアアップ科		
	目		
	専門実習科目		
	総合科目		

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	件
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
般基礎科目	保体		
科	その他		
P	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
-1-	生命薬学科目		W WENT II I
専攻科目	社会薬学科目		必修科目を
科日	医療薬学科目		124単位
Ц	キャリアアップ科		以上
	目		
	専門実習科目	11 単位	
	総合科目		

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実 習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要 がある。

区分	系列	要	件
_	人間と文化		
般基礎科目	歴史と社会 保体		
科目	その他		
П	外国語 I ~Ⅳ		
	学部基礎科目		
	物理·化学系薬学科		
	目		
审	生命薬学科目		必修科目を
攻	社会薬学科目		124単位
専攻科目	医療薬学科目		以上
	キャリアアップ科		以 上
	目		
	専門実習科目	11 単位	
	総合科目		

[※]日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

vi)卒業要件

要件を満たした単位を修得しなければならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化	1 単位以上		
	歴史と社会	1 単位以上		
加	保体	1 単位以上	16 単位以上	
基	7. 10 lih	必修科目を	「福祉学」を	
般基礎科目	その他	2 単位	修得するこ	
目		各1単位以上	논	
	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以		
		上※		
	学部基礎科目	必修科目を		
		11 単位		
	物理·化学系薬学科	必修科目を		
	目	21 単位	170単位	
	生命薬学科目	必修科目を		
-		20 単位		
- B 攻	社会薬学科目	17 単位	以上	
専攻科目	医療薬学科目	必修科目を	必修科目を すべて修得	
П		34 単位	すること	
	キャリアアップ科	必修科目を	9 0 - 2	
	目	14 単位		
	専門実習科目	11 単位		
	炒△到 □	必修科目を		
	総合科目	34 単位		

[%]日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成30(2018)年度入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

XIII H	(村口の女件を何にした単位を修行しなり40はなりない。				
区分	系列	要件			
	人間と文化				
般	歴史と社会				
般基礎科目	保体		8 単位以上		
科	その他				
目	外国語 I ~Ⅳ	1 単位以上			
	学部基礎科目				
専攻科目	学科基礎科目	実験科目を 3単位	<i>y let</i> 10 = 2		
	化学系薬学科目		必修科目を		
	物理系薬学科目		23 単位以上		
	生命薬学科目				
	社会薬学科目				

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格する こと。または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしく は J. Test 実用日本語検定 575 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、卒業までに「福祉学」及び「生 命倫理学」の2科目を修得しなければならない。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基 礎	保体		12 単位以上
般基礎科目	その他		
Ħ	外国語 I ~Ⅳ	3単位以上	
	学部基礎科目		
	学科基礎科目	実験科目を 3単位	
専	化学系薬学科目		V (#1) D 3
専攻科目	物理系薬学科目		必修科目を
目	生命薬学科目		69 単位以上
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目	6 単位	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

契件目の要件を値にした単位を修停しなければならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
_	歴史と社会			
般	保体			
般基礎科目	その他		16 単位以上	
科日		各1単位以上		
H	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以		
		上※		
	学部基礎科目			
	学科基礎科目	実験科目を		
	子件基礎件日	3 単位		
-	化学系薬学科目		V Metal Eliza	
- 専 攻	物理系薬学科目		必修科目を	
専攻科目	生命薬学科目		122単位	
П	社会薬学科目		以上	
	医療薬学科目			
	専門実習科目	1 1 単位		
	総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「事前病院・ 薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化	「福祉学」又 は「生命倫理 学」を修得す ること	
般基礎科目	歴史と社会		10 14 14 101 1
礎科	保体		16 単位以上
目	その他		
	外国語 I ~IV	各1単位以上 合計4単位以 上※	
	学部基礎科目		
	学科基礎科目	実験科目を 3単位	
-	化学系薬学科目		NATIO
	物理系薬学科目		必修科目を 151単位
専攻科目	生命薬学科目		以上
	医療薬学科目		M.L.
	社会薬学科目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目	12単位	

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実 習」及び「薬局実務実習」の科目を履修しなければならな い。

区分	系列	要件	
_	人間と文化	「福祉学」又 は「生命倫理 学」を修得す ること	
般基礎科目	歴史と社会		16 単体以上
礎科	保体		16 単位以上
目	その他		
	外国語 I ~IV	各1単位以上 合計4単位以 上※	
	学部基礎科目		
	学科基礎科目	実験科目を 3単位	
#	化学系薬学科目		N 16 10 10 2
	物理系薬学科目		必修科目を
専攻科目	生命薬学科目		158単位 以上
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目	13単位	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

vi)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の 要件を満たした単位を修得しなければならない。

要件を満たした単位を修停しなければならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化	4 単位以上		
	歴史と社会	1 単位以上	16 単位以上	
血	保体	1 単位以上	「福祉学」	
般基礎科目	その他	必修科目を	「生命倫理	
礎 科	て の 1 世	2 単位	学」の2科目	
目		各1単位以上	を修得する	
	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以	こと	
		上※		
	学部基礎科目	4 単位以上		
	学科基礎科目	11単位以上		
	化学系薬学科目	16単位	196単位	
専	物理系薬学科目	1 4 単位	以上	
専攻科目	生命薬学科目	28単位以上	必修科目を	
	社会薬学科目	16単位	すべて修得	
	医療薬学科目	48単位以上	すること	
	専門実習科目	1 1 単位		
	総合科目	48単位		

[平成29(2017)年度入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

以付日の安件を何にした単位を修行しなり40はなりない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
般	歴史と社会			
般基礎科目	保体		8 単位以上	
科	その他			
Ħ	外国語 I ~Ⅳ	1 単位以上		
	学部基礎科目			
専攻科目	学科基礎科目	実験科目を 3単位	ンをひロナ	
	化学系薬学科目		必修科目を	
	物理系薬学科目		23 単位以上	
	生命薬学科目			
	社会薬学科目			

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、卒業までに「福祉学」及び「生 命倫理学」の2科目を修得しなければならない。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
— 級	人間と文化 歴史と社会		
般基礎科目	保体		12 単位以上
科日	その他		
П	外国語 I ~IV	3 単位以上	
	学部基礎科目		
	学科基礎科目	実験科目を 3単位	
専	化学系薬学科目		V /4-6\ F -3-
専攻科	物理系薬学科目		必修科目を
目	生命薬学科目		69 単位以上
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目	6 単位	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
	人間と文化 歴史と社会		
般	保体		
磁	その他		16 単位以上
般基礎科目	外国語 I ~IV	各1単位以上 合計4単位以 上※	
	学部基礎科目		
	学科基礎科目	実験科目を 3単位	
	化学系薬学科目		
専攻科目	物理系薬学科目		必修科目を 122単位
科日	生命薬学科目		以上
н	社会薬学科目		以上
	医療薬学科目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「事前病院・ 薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

条向夫務夫首」の単位を修侍しなければならない。				
区分	系列	要件		
_	人間と文化	「福祉学」又 は「生命倫理 学」を修得す ること		
般基礎科目	歴史と社会		10 光佳四 1	
礎科	保体		16 単位以上	
目	その他			
	外国語 I ~IV	各1単位以上 合計4単位以 上※		
	学部基礎科目			
	学科基礎科目	実験科目を 3単位		
+	化学系薬学科目		NATIO	
専攻科目	物理系薬学科目		必修科目を	
科目	生命薬学科目		151単位 以上	
I	医療薬学科目		M.L.	
	社会薬学科目			
	専門実習科目	1 1 単位		
	総合科目	12単位		

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実 習」及び「薬局実務実習」の科目を履修しなければならな い。

区分	系列	要件	
_	人間と文化	「福祉学」又は「生命倫理学」を修得すること	
般基礎科目	歴史と社会		10 光体以上
礎科	保体		16 単位以上
Ē	その他		
	外国語 I ~IV	各1単位以上 合計4単位以 上※	
	学部基礎科目		
	学科基礎科目	実験科目を 3単位	
+	化学系薬学科目		N W AN EL +
· 攻	物理系薬学科目		必修科目を
専攻科目	生命薬学科目		158単位 以上
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目	13単位	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

vi)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の 要件を満たした単位を修得しなければならない。

安件を個にした単位を修行しなりがはなりなり。				
区分	系列	要件		
	人間と文化	4 単位以上		
	歴史と社会	1 単位以上	16 単位以上	
加	保体	1 単位以上	「福祉学」	
般基礎科目	2014	必修科目を	「生命倫理	
離科	その他	2 単位	学」の2科目	
目		各1単位以上	を修得する	
	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以	こと	
		上※		
	学部基礎科目	4 単位以上		
	学科基礎科目	11単位以上		
	化学系薬学科目	16単位	196単位	
専	物理系薬学科目	1 4 単位	以上	
専攻科目	生命薬学科目	28単位以上	必修科目を	
自	社会薬学科目	16単位	すべて修得	
	医療薬学科目	48単位以上	すること	
	専門実習科目	1 1 単位		
	総合科目	48単位		

[平成 27~28 (2015~2016) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

久付百の女件を個にした単位を移行しなりればなりない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
般	歴史と社会			
般基礎科目	保体		8 単位以上	
科	その他			
B	外国語 I ~Ⅳ	1 単位以上		
	学部基礎科目			
専攻科目	学科基礎科目	実験科目を 3単位	<i>y let</i> 0 1	
	化学系薬学科目		必修科目を	
	物理系薬学科目		25 単位以上	
	生命薬学科目			
	社会薬学科目			

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、卒業までに「福祉学」及び「生 命倫理学」の2科目を修得しなければならない。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

教科目の安件を個にした単位を修行しなり40はなりない。				
区分	系列	要件		
_	人間と文化			
般	歴史と社会			
般基礎科目	保体		12 単位以上	
科	その他			
P	外国語 I ~Ⅳ	3 単位以上		
	学部基礎科目			
	学科基礎科目	実験科目を		
		3 単位		
専	化学系薬学科目		N/MAN (1) +.	
専攻科目	物理系薬学科目		必修科目を	
目	生命薬学科目		71 単位以上	
	社会薬学科目			
	医療薬学科目			
	専門実習科目	6 単位		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

(契付日の安件を値にした単位を修停しなりればならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
_	歴史と社会			
般	保体			
般基礎科目	その他		16 単位以上	
科目		各1単位以上		
H	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以		
		上※		
	学部基礎科目			
	学科基礎科目	実験科目を		
		3 単位		
-	化学系薬学科目		N West I II &	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	物理系薬学科目		必修科目を	
専攻科目	生命薬学科目		122単位	
Ħ	社会薬学科目		以上	
	医療薬学科目			
	専門実習科目	1 1 単位		
	総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~IVより日本語科目 8単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・ 薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

果同夫務夫智」の単位を修侍しなければならない。				
区分	系列	要件		
_	人間と文化	「福祉学」又 は「生命倫理 学」を修得す ること		
般基礎科目	歴史と社会		16 異体以上	
礎科	保体		16 単位以上	
目	その他			
	外国語 I ~IV	各1単位以上 合計4単位以 上※		
	学部基礎科目			
	学科基礎科目	実験科目を 3単位		
	化学系薬学科目		<i>y </i>	
専攻科目	物理系薬学科目		必修科目を	
科目	生命薬学科目		151単位 以上	
Н	医療薬学科目		M.L.	
	社会薬学科目			
	専門実習科目	11単位		
	総合科目	12単位		

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「病院実務実 習」及び「薬局実務実習」の科目を履修しなければならな い。

区分	系列	要	件
_	人間と文化	「福祉学」又 は「生命倫理 学」を修得す ること	
般基礎科目	歴史と社会		16 単体以上
礎科	保体		16 単位以上
目	その他		
	外国語 I ~IV	各1単位以上 合計4単位以 上※	
	学部基礎科目		
	学科基礎科目	実験科目を 3単位	
#	化学系薬学科目		N 16 10 10 2
	物理系薬学科目		必修科目を
専攻科目	生命薬学科目		158単位 以上
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目	1 1 単位	
	総合科目	13単位	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

vi)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の 要件を満たした単位を修得しなければならない。

要件を満たした単位を修停しなければならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化	4 単位以上		
	歴史と社会	1 単位以上	16 単位以上	
血	保体	1 単位以上	「福祉学」	
般基礎科目	その他	必修科目を	「生命倫理	
(礎) 科	-C 071E	2 単位	学」の2科目	
目		各1単位以上	を修得する	
	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以	こと	
		上※		
	学部基礎科目	4 単位以上		
	学科基礎科目	11単位以上		
	化学系薬学科目	16単位	196単位	
専	物理系薬学科目	1 4 単位	以上	
専攻科目	生命薬学科目	28単位以上	必修科目を	
Ē	社会薬学科目	16単位	すべて修得	
	医療薬学科目	48単位以上	すること	
	専門実習科目	1 1 単位		
	総合科目	34単位以上		

[平成26(2014)年度入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化		
般	歴史と社会		
基礎	保体		6 単位以上
般基礎科目	その他		
	外国語 I ~Ⅳ	1 単位以上	
専攻科目	学部共通基礎科目	実験科目を	
	于即六四巫峽行口	3 単位	
	化学系薬学科目		23 単位以上
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 を取得すること。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

久行自の女行を個だした中国を移行しなければなりない。				
区分	系列	要件		
_	人間と文化			
般	歴史と社会			
般基礎科目	保体		12 単位以上	
科	その他			
H	外国語 I ~Ⅳ	3 単位以上		
	学部共通基礎科目		69単位以	
-+-	化学系薬学科目		上	
- 専 攻	物理系薬学科目		1年次の必	
専攻科目	生命薬学科目		修科目をす	
	医療薬学科目		べて修得す	
	専門実習科目	5単位	ること	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

以付日の安件を個にした単位を修行しなり40はなりない。				
区分	系列	要件		
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 その他		16 単位以上	
	外国語 I ∼IV	各1単位以上 合計4単位以 上※		
専攻科目	学部共通基礎科目 化学系薬学科目 物理系薬学科目 生命薬学科目 医療薬学科目 専門選択科目 専門実習科目	1 1 単位	118単位 以上 2年次までの 必修科目をす べて修得する こと	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~IVより日本語科目 8単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・ 薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

米川大切大日」の手匠で修行しなりればなりなり。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
_	歴史と社会			
般	保体			
般基礎科目	その他		16 単位以上	
科日		各1単位以上		
н	外国語 I ~IV	合計 4 単位以		
		上※		
	学部共通基礎科目			
	化学系薬学科目	1 4 単位	131単位	
#	物理系薬学科目	1 4 単位	以上	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	生命薬学科目	3 0 単位	3年次まで	
専攻科目	医療薬学科目	34単位以上	の必修科目	
	専門選択科目		をすべて修	
	専門実習科目	1 2 単位	得すること	
	総合科目	1 2 単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

v)6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局 実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の 要件を満たした単位を修得しなければならない。

女目で個にした平位を修行しなりがななりなり。			
区分	系列	要件	
	人間と文化	1 単位以上	
	歴史と社会	1 単位以上	
血血	保体	1 単位以上	
般基礎科目	その他	必修科目を	16 単位以上
礎 科	-C 071E	2 単位	10 平区丛工
目		各1単位以上	
	外国語 I ~Ⅳ	合計4単位以	
		上※	
	学部共通基礎科目		
	化学系薬学科目	1 4 単位	100%4
由	物理系薬学科目	1 4 単位	183単位
専攻科目	生命薬学科目	30単位	以上
	医療薬学科目	44単位以上	必修科目を すべて修得
	専門選択科目	2 単位以上	すること
	専門実習科目	1 2 単位	7.0 - 2
	総合科目	45単位	

[平成 24~25 (2012~2013) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

久日日の女日と間にした中国とおりてはいればなりは、				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
<u>—</u>	歴史と社会			
般基礎科目	保体		6 単位以上	
礎科	その他		0 年世以上	
目	外国語※	必修科目を		
		2単位以上		
	学部共通基礎科目	実験科目を		
専攻科目	于即六四巫峽行口	3 単位		
	化学系薬学科目		23 単位以上	
	物理系薬学科目			
	生命薬学科目			

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合 は、日本語2科目を修得していること。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
_	人間と文化 歴史と社会		
般基礎科目	保体		12 単位以上
科目	その他	必修科目を	
	外国語※	6 単位以上	
	学部共通基礎科目		69単位以
由	化学系薬学科目		上
攻	物理系薬学科目		1年次の必
専攻科目	生命薬学科目		修科目をす
	医療薬学科目		べて修得す
	専門実習科目	5 単位	ること

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合は、日本語4科目12単位をすべて修得しなければならない。

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

久付日の女子を個にした手匹を修行しなりがはなりない。				
区分	系列	要件		
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 その他 外国語	必修科目を	17 単位以上	
	学部共通基礎科目	8 単位		
	化学系薬学科目		118単位 以上	
専	物理系薬学科目		2年次の必	
専攻科目	生命薬学科目		修科目をす	
	医療薬学科目		べて修得す	
	専門選択科目		ること	
	専門実習科目	1 1 単位		

iv)5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・ 薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

衆川夫伤夫百」の単位を修行しなり40kなりない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
én.	歴史と社会			
基	保体		17 光体以上	
般基礎科目	その他		17 単位以上	
目	세 모르	必修科目を		
	外国語	8 単位		
	学部共通基礎科目			
	化学系薬学科目	1 4 単位	131単位	
-1-	物理系薬学科目	1 4 単位	以上	
専攻科目	生命薬学科目	30単位	3年次の必	
科目	医療薬学科目	34単位以上	修科目をす	
	専門選択科目		べて修得す	
	専門実習科目	1 2 単位	ること	
	総合科目	12単位		

v)6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の 要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
	人間と文化	1 単位以上	
_	歴史と社会	1 単位以上	
般	保体	1 単位以上	
般基礎科目	その他	必修科目を	17 単位以上
科日	ての他	2 単位	
	外国語	必修科目を	
		8 単位	
	学部共通基礎科目		
	化学系薬学科目	1 4 単位	100 24 14
#	物理系薬学科目	1 4 単位	182単位
安 攻	生命薬学科目	30単位	以上 必修科目を
専攻科目	医療薬学科目	44単位以上	北下行日を
	専門選択科目	2単位以上	すること
	専門実習科目	1 2 単位	7.0 - 2
	総合科目	45単位	

◎同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属 学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した 単位は20単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加える ことができる。

[平成23(2011)年度入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

<u> </u>	XII CIMICOIC I EC	12 14 0 01 7 11 2	10.00
区分	系列	要件	
	人間と文化		
én.	歴史と社会		
基	保体		6 単位以上
般基礎科目	その他		0 单位以上
目	外国語※	必修科目を	
	外国 語※	2単位以上	
	学部共通基礎科目	実習科目を	
専 攻 科 目	于即六四巫峽行口	3 単位	
	化学系薬学科目		23 単位以上
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合 は、日本語2科目を修得していること。

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

以科目の要件を満たした単位を修侍しなければならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
<u>—</u> 6Л	歴史と社会			
基	保体		12 単位以上	
般基礎科目	その他		12 単位以上	
目	外国語※	必修科目を		
		6 単位以上		
	学部共通基礎科目		73単位以	
#	化学系薬学科目		上	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	物理系薬学科目		1年次の必	
専攻科目	生命薬学科目		修科目をす	
	医療薬学科目		べて修得す	
	専門実習科目	6単位	ること	

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合 は、日本語4科目12単位をすべて修得しなければならない。

iii) 4 年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

収料目の要件を満たした単位を修停しなければならない。					
区分	系列	要件			
	人間と文化				
—- éл.	歴史と社会				
般基礎科目	保体		16 単位以上		
礎科	その他		10 单位以上		
Ï	外国語	必修科目を			
		8 単位			
	学部共通基礎科目		118単位		
±	化学系薬学科目		以上		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	物理系薬学科目		2年次の必		
専攻科目	生命薬学科目		修科目をす		
	医療薬学科目		べて修得す		
	専門実習科目	1 2 単位	ること		

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・ 薬局主発宝翌」の単位を修得しなければならない

果同美務美智」の単位を修侍しなければならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
血 é几	歴史と社会			
般基礎科	保体		16 単位以上	
礎科	その他		10 单位以上	
目	外国語	必修科目を		
		8 単位		
	学部共通基礎科目	23単位以上	131単位	
	化学系薬学科目	16単位以上		
専	物理系薬学科目	1 4 単位	以上の生物のド	
専攻科目	生命薬学科目	30単位以上	3年次の必修科目をす	
	医療薬学科目	34単位以上	でなる。	
	専門選択科目		ること	
	専門実習科目	1 4 単位		

v)6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実 務実習」の単位を修得しなければならない。

vi)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の 要件を満たした単位を修得しなければならない。

女打と前にした中国と同じしまりがはなりない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化	1 単位以上 5		
_	歴史と社会	1単位以上 1単位以上 上		
般	保体	1単位以上 以上		
般基礎科目	その他	必修科目を	16 単位以上	
科日	て の 他	2 単位		
н	外国語	必修科目を		
		8 単位		
	学部共通基礎科目	23単位以上		
	化学系薬学科目	17単位以上	183単位	
#	物理系薬学科目	1 4 単位		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	生命薬学科目	31単位以上	以上	
専攻科目	医療薬学科目	44単位以上	必修科目を すべて修得	
	専門選択科目	2 単位以上	すること	
	専門実習科目	1 4 単位	90-6	
	総合演習科目	38単位以上		

◎同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属 学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した 単位は20単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加える ことができる。

[平成22(2010)年度入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
	人間と文化		
— éл.	歴史と社会		
基	保体		6 展体い 4
般基礎科目	その他		6 単位以上
目	外国語	必修科目を	
		2単位以上	
	学部共通基礎科目	実習科目を	
専 攻 科 目	于即六世巫诞行口	3 単位	
	化学系薬学科目		23 単位以上
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化歴史と社会保体その他		12 単位以上
目	外国語	必修科目を 6単位以上	
専攻科目	学部共通基礎科目 化学系薬学科目 物理系薬学科目 生命薬学科目 医療薬学科目 専門実習科目	6 単位	73 単位以上 1 年次の必 修科目をす べて修得す ること

iii) 4 年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 その他		16 単位以上
目	外国語	必修科目を 8単位	
専攻科目	学部共通基礎科目 化学系薬学科目 物理系薬学科目 生命薬学科目 医療薬学科目 専門選択科目 専門実習科目	12単位	118単位 以上 2年次の必 修科目をす べて修得す ること

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・ 薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 その他		16 単位以上
目	外国語	必修科目を 8単位	
専攻科目	学部共通基礎科目 化学系薬学科目 物理系薬学科目 生命薬学科目 医療薬学科目 専門選択科目 専門実習科目	23単位以上 16単位以上 14単位 30単位以上 34単位以上	131単位 以上 3年次の必 修科目をす べて修得す ること

v)6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実 務実習」の単位を修得しなければならない。

vi)卒業要件

安件を何にした単位を修行しなりもはなりなり。				
区分	系列	要件		
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 その他	1単位以上 7 1単位以上 位以 1単位以上 以上	16 単位以上	
目	外国語	必修科目を 8単位		
専攻科目	学部共通基礎科目 化学系薬学科目 物理系薬学科目 生命薬学科目 医療薬学科目 専門選択科目 専門実習科目	2 3 単位以上 1 7 単位以上 1 4 単位 3 1 単位以上 4 4 単位以上 2 単位以上	183単位 以上 必修科目を すべて修得 すること	
	総合演習科目	38単位以上		

[平成21 (2009) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
	人間と文化		
—- éл.	歴史と社会		
般基礎科目	保体		で無体いて
礎科	その他		6 単位以上
目	外国語	必修科目を	
		2単位以上	
	基礎科目	実習科目を	
専	坐 爬行口	3 単位	
専攻科目	化学系薬学科目		33 単位以上
目	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

以付目の安件を個だした単位を修行しなりればならない。				
区分	系列	要件		
	人間と文化			
— éл.	歴史と社会			
般基礎科目	保体		12 単位以上	
礎科	その他			
É	外国語	必修科目を		
		6 単位以上		
	基礎科目		>//// >//	
#	化学系薬学科目		73 単位以上	
専攻科目	物理系薬学科目		1年次の必修科目をす	
	生命薬学科目		ではいる	
	医療薬学科目		ること	
	専門実習科目	6 単位	r L	

iii) 4 年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
	人間と文化		
ー 他ル	歴史と社会		
基	保体		16 単位以上
般基礎科目	その他		10 单位以上
Ħ	外国語	必修科目を	
		8 単位	
	基礎科目		118単位
#	化学系薬学科目		以上
専攻科目	物理系薬学科目		2年次の必
	生命薬学科目		修科目をす
	医療薬学科目		べて修得す
	専門実習科目	1 2 単位	ること

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・ 薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

	衆向夫伤夫首」の単位を修行しなりればならない。				
	区分	系列	要件		
	一般基礎科目	人間と文化歴史と社会保体その他	以收到日子。	16 単位以上	
	Ħ	外国語	必修科目を 8単位		
		基礎科目	23単位以上	101144	
		化学系薬学科目	16単位以上	131単位	
	専	物理系薬学科目	1 4 単位	以上の生物のド	
	専攻科目	生命薬学科目	30単位以上	3年次の必修科目をす	
		医療薬学科目	34単位以上	でない	
		専門選択科目		ること	
		専門実習科目	1 4 単位))	

v)6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実 務実習」の単位を修得しなければならない。

vi)卒業要件

タロご順	にした単位を修存し	\$17401B1B1B1B	. • 0
区分	系列	要	件
_	人間と文化 歴史と社会	1 単位以上 7 1 単位以上 単	
般基礎科目	保体	1単位以上 単位以上 以上	16 単位以上
(((科	その他	1単位以上	10 平区丛工
Ħ	外国語	必修科目を	
	++ ********	8単位	
	基礎科目	23単位以上	
	化学系薬学科目	17単位以上	100%/4
#	物理系薬学科目	1 4 単位	183単位 以上 必修科目を すべて修得 すること
攻	生命薬学科目	31単位以上	
専攻科目	医療薬学科目	44単位以上	
	専門選択科目	2 単位以上	
	専門実習科目	1 4 単位	
	総合演習科目	38単位以上	

[平成20(2008)年度入学生(薬学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件		
	人間と文化			
— éл.	歴史と社会			
基	保体		6 単位以上	
般基礎科目	その他		0 单位以上	
E	外国語	必修科目を		
	外国語	2単位以上		
	基礎科目	実習科目を		
専	本 硬行口	3 単位		
専攻科目	化学系薬学科目		33 単位以上	
Ħ	物理系薬学科目			
	生命薬学科目			

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 その他		12 単位以上
科 目	外国語	必修科目を 6単位以上	
専攻科目	基礎科目 化学系薬学科目 物理系薬学科目		73 単位以上 1 年次の必 修科目をす
科目	生命薬学科目 医療薬学科目 専門実習科目	6 単位	べて修得すること

iii) 4 年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要	件
一般基礎科目	人間と文化 歴史と社会 保体 その他		16 単位以上
目	外国語	必修科目を 8単位	
専攻科目	基礎科目 化学系薬学科目 物理系薬学科目 生命薬学科目 医療薬学科目 専門選択科目 専門実習科目	12単位	113単位 以上 2年次の必 修科目をす べて修得す ること

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専 攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

<u> </u>							
区分	系列	要件					
	人間と文化						
— éл.	歴史と社会						
般基礎科目	保体		16 単位以				
磁科	その他		上				
Ħ	外国語	必修科目を					
	77国品	8 単位					
	基礎科目	23単位以上	1 3 1 単				
	化学系薬学科目	16単位以上	位以上				
専	物理系薬学科目	1 4 単位	3年次の				
専攻科目	生命薬学科目	30単位以上	必修科目				
目	医療薬学科目	34単位以上	をすべて				
	専門選択科目		修得する				
	専門実習科目	1 4 単位	こと				

v)6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実 務実習」の単位を修得しなければならない。

vi)卒業要件

Z11 U 11	にした中国を移向しる	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0
区分	系列	要係	‡
	人間と文化	1単位以上 7	
én.	歴史と社会	1単位以上 単	
基	保体	1 単位以上 単位 1 単位以上 以	16 単位以
般基礎科目	その他	1単位以上	上
E	外国語	必修科目を	
	77国品	8 単位	
	基礎科目	23単位以上	
	化学系薬学科目	17単位以上	1 8 3 単
#	物理系薬学科目	1 4 単位	位以上
	生命薬学科目	31単位以上	必修科目
専攻科目	医療薬学科目	44単位以上	をすべて
	専門選択科目	2単位以上	修得する
	専門実習科目	1 4 単位	こと
	総合演習科目	38単位以上	

2 危機管理学部各学科の進級・卒業要件は次のとおりである。

[令和5 (2023) 年度以降の入学生(危機管理学部)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

2 十八に進版するためには、	. 一 几 八文	が作りはら		コン安日を何にした中国を修行しなりればならない。
		要 件		
学 科	一般基礎	専攻	計	条 件
	科目	科目	訂	
危機管理学科				
保健医療学科			24 単位	
			以上	
航空技術危機管理学科			24 単位	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。
			以上	もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J. Test 実用日本
動物危機管理学科			24 単位	語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。
			以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

0 十八に進版するためには、	1 110 /汉坐	EMETI HIS D		1の女性を個にした中世を修行しなりがなるりなり。
		要 件		
学 科	一般基礎	専攻	計	条 件
	科目	科目	日日	
危機管理学科			50 単位	
			以上	
保健医療学科			64 単位	
			以上	
航空技術危機管理学科			64 単位	
			以上	
動物危機管理学科			64 単位	
			以上	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要件		
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学科			80 単位	
			以上	
保健医療学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	
航空技術危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計96単位
				以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

%卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単

位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

		要 件		
学 科	一般基礎	専攻	計	条 件
	科目	科目	計	
危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				位を修得すること。

保健医療学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
床庭区原于付				
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
航空技術危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				位を修得すること。

[※]同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[令和2~4 (2020~2022) 年度の入学生(危機管理学部)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

1 2 1 1 - 1 2 1 1 1 1 1			• > • • • • • • • • • • • • • • • •	TO SET THE COLUMN TO SET TO SE
		要件		
学 科	一般基礎	専攻	#I	条 件
	科目	科目	計	
危機管理学科				
保健医療学科			24 単位	
			以上	
航空技術危機管理学科			24 単位	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。
			以上	もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J. Test 実用日本
動物危機管理学科			24 単位	語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。
			以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

- 19th Jewy and St. 1st. Life Wearell Language Abelian St. Abelian St. Jewas and Jewas						
	要件					
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件		
危機管理学部			64 単位			
			以上			

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件			
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学科			104 単位 以上	
保健医療学科			104 単位 以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104 単位 以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計96単位 以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位 以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

	要件			
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単位を修得すること。
保健医療学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単位を修得すること。

航空技術危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各 1 単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。

[※]同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成31 (2019) 年度の入学生(危機管理学部)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件			
学 科	一般基礎	専攻	計	条 件
	科目	科目	ĒΙ	
危機管理学科				
保健医療学科			24 単位	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。
			以上	または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしくは J. Test 実用
航空技術危機管理学科			24 単位	日本語検定 575 点以上を取得すること。
			以上	
動物危機管理学科			24 単位	
			以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

120 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 200 - 2							
	要件						
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件			
危機管理学部			64 単位				
			以上				

iii) 4 年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要件		
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学科			104 単位 以上	
保健医療学科			104 単位 以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104 単位 以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計96単位 以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位 以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

		要件		
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単位を修得すること。
保健医療学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単位を修得すること。 5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用

				数学、応用数学演習、物理学 I、物理学 I、生物学 II、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学 I、臨床病態学 II、臨床病態学 II、臨床所態学 II、臨床所態学 II、臨床所態学 II、臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。 6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学 I、化学 I、化学 II、生物学 II、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習を修得すること。
航空技術危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は「外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				位を修得すること。

[※]同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成30(2018)年度入学生(危機管理学部)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要件		
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	訨	条件
危機管理システム学科				日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。
環境危機管理学科			24 単位	または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしくは J. Test 実用
			以上	日本語検定 575 点以上を取得すること。
医療危機管理学科			24 単位	
			以上	
航空技術危機管理学科			24 単位	
			以上	
動物危機管理学科			24 単位	
			以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

要件				
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学部			64 単位	
			以上	

iii) 4 年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要件		
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理システム学科			104 単位	
			以上	
環境危機管理学科			104 単位	
			以上	
医療危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	
航空技術危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計96単位
				以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

		要件		
学 科	一般基礎科目	専攻 科目	計	条件
危機管理システム学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。
環境危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単

				位を修得すること。 5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナール I、環境科学ゼミナール I、環境科学演習 I、環境科
				学演習Ⅱ、環境科学特別演習Ⅰ、環境科学特別演習Ⅱを修得すること。
				6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべての科目を修得すること。
医療危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保 体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。
				1位で10行りること。 5. 臨床工学コースの学生は、「学科基礎科目]から基礎数学演習、応用
				数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅲ、生物学Ⅲ、物理学実
				験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床
				検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学I、臨床病態学
				Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミン グ又はコンピュータグラフィックスを修得すること。
				6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学 I、化学
				Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科
				目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨
				床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コ
				ース専門科目]から解剖学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習 を修得すること。
航空技術危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保 体]から1単位以上、修得すること。
				体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は「外国語 I ~ IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				位を修得すること。

[※]同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の5単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成29(2017)年度入学生(危機管理学部)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要件			
	学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機	管理学部			24 単位	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2を取得すること。
				以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件			
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学部			64 単位	
			以上	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

1 0(10,2/10,7 0/2,7/10/10)	1 放金硬件自なりしに守久付自り安ける個にした手匠を修行しなければなりない。				
要件					
学 科	一般基礎	専攻	計	条 件	
	科目	科目	ĒΙ		
危機管理システム学科			104 単位		
			以上		
環境危機管理学科			104 単位		
			以上		
医療危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。	
			以上		
航空技術危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。	
			以上	ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、事業用操縦士	
				資格を取得し、合計96単位以上修得すること。	
動物危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。	
			以上		

iv)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単

位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

		要件		
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理システム学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
環境危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
				5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科
				学ゼミナールⅠ、環境科学ゼミナールⅡ、環境科学演習Ⅰ、環境科
				学演習Ⅱ、環境科学特別演習Ⅰ、環境科学特別演習Ⅱを修得するこ
				と。
				6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実
				験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべて

				の科目を修得すること。
医療危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. 「人間と文化]から1単位以上、「歴史と社会]から1単位以上、「保
		, . <u> </u>		体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は「外国語 I ~IV] より各 1 単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				位を修得すること。
				5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用
				数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実
				験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床
				検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学Ⅰ、臨床病態学
				Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミン
				グ又はコンピュータグラフィックスを修得すること。
				6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学 I 、化学
				Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科
				目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨
				床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コ
				ース専門科目]から解剖学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習
				を修得すること。
航空技術危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
		*****	*****	位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~ IV]より各 1 単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
	1 - 1 - 1 - 1 - 1			位を修得すること。

[※]同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の5単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 27~28 (2015~2016) 年度入学生 (危機管理学部) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要 件		
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条 件
危機管理学部			24 単位	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2を取得すること。
			以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件			
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学部			64 単位	
			以上	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

1 0(10,2/10,7 0/2,7/10/10)	一 放金硬件自なりしに守久付百少女件を個にした手匠を修行しなりがいない。				
要件					
学 科	一般基礎	専攻	計	条件	
	科目	科目	ĒΙ		
危機管理システム学科			104 単位		
			以上		
環境危機管理学科			104 単位		
			以上		
医療危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。	
			以上		
工学技術危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。	
			以上	ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、事業用操縦士	
				資格を取得し、合計96単位以上修得すること。	
動物危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。	
			以上		

iv)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単

位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

		要件		
学科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理システム学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
環境危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。
				5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科
				学ゼミナールⅠ、環境科学ゼミナールⅡ、環境科学演習Ⅰ、環境科
				学演習Ⅱ、環境科学特別演習Ⅰ、環境科学特別演習Ⅱを修得するこ
				と。
				6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実
				験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべて

				の科目を修得すること。
医療危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
区原地域自生于付	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
	以上	以上	丛上	2. [八町と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は「外国語 I ~IV]より各 1 単位以上、合
				3. 日本語をは国語とりの子生は「外国語 I ~IV」より登 I 単位以上、日 計 4 単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は「外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				4. 日本語を存国語としない子生は[外国語 1~1V]より日本語科日 8 単位を修得すること。
				5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用
				数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実
				験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床
				検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学 I 、臨床病態学
				Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミン
				グ又はコンピュータグラフィックスを修得すること。
				6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学 I 、化学
				I、化学 II 、生物学 II 、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科
				目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨
				床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コ
				ース専門科目]から解剖学実習を修得すること。
工学技術危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I \sim IV]より各 1 単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単
				位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合
				計4単位以上修得すること。
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目 8 単
				位を修得すること。

[※]同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の15単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。(2016年度生は、教職科目の5単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。)

[平成26(2014)年度入学生(危機管理学部)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

2 十八に進版するためには、	1 和 /1人土	WELL HIS 2	0 (6 (1)	日の女目を同たした中国を修行しなければなりなく。
	要件			
学科	一般基礎	専攻	# I	条 件
	科目	科目	計	
危機管理システム学科			24 単位	
			以上	
環境危機管理学科			24 単位	
			以上	
医療危機管理学科			24 単位	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱの6科目
			以上	を修得すること。
工学技術危機管理学科			24 単位	
			以上	
動物危機管理学科			24 単位	
			以上	

[※]日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2を取得すること。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件			
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理学部			64 単位	
			以上	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要件		
学 科	一般基礎	専攻	計	条件
	科目	科目	п	
危機管理システム学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	
環境危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	
医療危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	
工学技術危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。た
			以上	だしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、事業用操縦士資格
				を取得し、合計96単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
			以上	

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

世界工は 放産使行り及じ	世外工は、放金帳件自及び等外付りともらから修行してもかまれない。							
		要件						
学 科	一般基礎	専攻	計	条 件				
	科目	科目	īΤ					
危機管理システム学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。				
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保				
				体]から1単位以上、修得すること。				
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合				
				計4単位以上修得すること。				
				4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単				
				位を修得すること。				
環境危機管理学科	16 単位	104 単位	124 単位	1. 必修科目をすべて修得すること。				
	以上	以上	以上	2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保				
				体]から1単位以上、修得すること。				
				3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合				

医療危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単位を修得すること。 5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナールI、環境科学では1、環境科学演習 I、環境科学では1、環境科学演習 I、環境科学特別演習 I、環境科学特別演習 I、環境科学特別演習 I、での得すること。 6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべての科目を修得すること。 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保
				体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単位を修得すること。 5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用数学、応用数学演習、物理学 I、物理学 II、生物学 II、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学 I、臨床病態学 II、臨床病態学 II、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。 6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学 I、化学 I、化学 II、生物学 II、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から性理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習を修得すること。
工学技術危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~IV]より日本語科目8単位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	

[※]同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の15単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成25 (2013) 年度入学生(危機管理学部)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件				
学科	一般基礎	専攻	∌ I.	条 件	
	科目	科目	計		
危機管理システム学科			24 単位		
			以上		
環境危機管理学科			24 単位		
			以上		
医療危機管理学科			24 単位	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱの6科目	
			以上	を修得すること。	
工学技術危機管理学科			24 単位		
			以上		
動物危機管理学科			24 単位		
			以上		

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件				
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条 件	
危機管理学部			64 単位		
			以上		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

	要件					
学部	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条 件		
危機管理学部			104 単位	3年次までの必修科目とすべて修得すること。		
			以上			

iv)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

		要件		
学 科	一般基礎 科目	専攻 科目	計	条件
危機管理システム学科	20 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。 3. 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目:「科学英語I」「科学英語II」 放送大学開講科目:「中国語入門I」「中国語I」「「中国語入門II」「「中国語II」「「ドイツ語入門II」「「ドイツ語入門II」「「ドイツ語入門II」「「ドイツ語」「「「・「・「・「・」」」「「「・「・」」「「・「・」」「「・「・」」「「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・「・」」「・」」「・「・」」「・」」「・」「・
環境危機管理学科	20 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	 必修科目をすべて修得すること。 [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。本学開講科目:「科学英語I」「科学英語II」が送大学開講科目:「中国語入門I」「中国語I」「ドイツ語入門II」「中国語II」「ドイツ語入門II」「「ドイツ語入門II」「ドイツ語I」「「韓国語入門II」「「ボイツ語II」「「韓国語入門II」 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3.の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語

				とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として 履修している学生は、3. の条件を適用する。
				履修じている子生は、3. の宋件を適用する。 5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナールⅠ、環境科学ゼミナールⅡ、環境科学演習Ⅰ、環境科学演習Ⅱ、環境科学特別演習Ⅱを修得すること。
				6.理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべての科目 を修得すること。
医療危機管理学科	20 単位以上	104 単位以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。 3. 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目:「科学英語I」「科学英語II」 放送大学開講科目:「科学英語I」「科学英語II」 が送大学開講科目:「中国語入門I」「中国語I」「中国語入門II」 「中国語II」「ドイツ語入門I」「中国語入門II」 「ドイツ語I」「韓国語入門I」「韓国語入門II」 4. 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3. の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として履修している学生は、3. の条件を適用する。 5. 臨床工学コースの学生は、[共通基礎科目]から必修科目を含む計20単位以上、[学科基礎科目]から基礎教学演習、応用数学、応用数学演習、物理学I、物理学II、生物学II、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学I、臨床病態学II、臨床病態学II、[臨床工学コース専門科目]からこと。 6. 臨床検査学コースの学生は、「学科基礎科目]から、物理学I、化学I、化学II、生物学II、物理学実験、化学実験、「学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、「臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から解剖学実習を修得すること。
工学技術危機管理学科	20 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。 3. 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目:「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」 放送大学開講科目:「中国語入門Ⅰ」「中国語Ⅰ」「中国語入門Ⅱ」「中国語Ⅱ」「ドイツ語入門Ⅰ」「「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
動物危機管理学科	20 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。 3. 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目:「科学英語I」「科学英語II」 放送大学開講科目:「中国語入門I」「中国語I」「中国語入門II」 「中国語II」「ドイツ語入門I」「ドイツ語入門II」 「ドイツ語II」「韓国語入門I」「韓国語入門II」 4. 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3. の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として履修している学生は、3. の条件を適用する。 正屋学科 具形で教教課の承認など思わば層像なすることがで

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の15単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

3 看護学部看護学科の進級・卒業要件は次のとおりである。 [令和4(2022)年度以降の入学生(看護学科)進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。2年次の進級要件を満たしたとしても、その年次に修得すべき単位を修得できなかった場合は卒業が延期になることがある。

区分			要件	
	人間と文化			
船	歴史と社会	:		
目基	保体			10単位以上
般 基 礎 科	科学と実践			
7-1	外国語 I ~	· II		
	±##		いのちとからだ・こころを科学する	
	専門基 礎科目	いのちを科学する	いのちと生活を科学する	
夷	(逆代日		いのちと社会を科学する	
専攻科目		基盤分野看護学	基盤看護学	
科日			小児・母性看護学	必修行日至20年世久工
	専門科目	発達分野看護学	成人・老年看護学	
			精神看護学	
		広域分野看護学	在宅・公衆衛生看護学	

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。3年次の進級要件を満たしたとしても、その年次に修得すべき単位を修得できなかった場合は卒業が延期になることがある。

区分			要件		
	人間と文化				
船	歴史と社会				
般基礎科	保体			12単位以上	
礎利	科学と実践				
7-1	外国語 I ~	·IV			
	古田士	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する		
	専門基		いのちと生活を科学する		
専	礎科目		いのちと社会を科学する		
攻		基盤分野看護学	基盤看護学	6.5 景体以上	
攻科目		門科目 発達分野看護学	小児・母性看護学	63単位以上	
専	専門科目		成人・老年看護学		
			精神看護学		
		広域分野看護学	在学・公衆衛生看護学		

iii)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分		系列	りいに守久行口の多	要件		
<u>—</u>	人間と文化			必修科目を含め3単位以上		
般基礎科	歴史と社会保体			2 単位以上 1 単位以上	16単位以上	
総科	科学と実践	k k		必修科目を含め2単位以上		
目	外国語 I ~	-IV		各1単位以上 合計4単位以上※		
	専門基礎科目	いのちとからだ・こころ を科学する いのちと生活を科学す る いのちと社会を科学す る		選択科目「いのちと生活IV (薬と危機管理)」、「医療専門職連携導入」のいずれか1単位以上を含む29単位以上	108単位以	
専攻科目		基盤分野看護学	基盤看護学	1 4 単位	上必修科目の単位をすべて	
	専門科目	発達分野看護学	小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学		修得すること	
	守门村日	広域分野看護学	在宅・公衆衛生看 護学	13単位以上		
		統合分野看護学		統合共通看護学1から4単位以上 統合実践看護学から6単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~IVより日本語科目8単位を修得すること。

[令和 2~3 (2020~2021) 年度の入学生 (看護学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分		.沙(こ)(八)	要件		
巨刀			安件		
	人間と文化	i I			
船	歴史と社会	:			
目基	保体		12単位以上		
般 基 礎 科	科学と実践				
71-1	外国語 I ~	П		1	
専	専門基	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する		
攻科	等 门 基		いのちと生活を科学する	 必修科目を17単位以上	
	(逆代日		いのちと社会を科学する	必修科目を17単位以上	
目	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学		

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分			要件			
	人間と文化					
般	歴史と社会					
目 礎科	保体			14単位以上		
礎私	科学と実践					
7-1	外国語 I ~	·IV				
	古田士		いのちとからだ・こころを科学する			
	専門基	一 いのちを科学する	いのちと生活を科学する			
亩	礎科目		いのちと社会を科学する			
専攻科目		基盤分野看護学	基盤看護学	── ── 4 0 単位以上		
科			小児・母性看護学	一 4 0 单位以上		
専門科	専門科目	発達分野看護学	成人・老年看護学			
			精神看護学			
		広域分野看護学	在学・公衆衛生看護学			

iii)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

十未りる	るためには、「記一板基礎村日なりいに导攻村日の安件を個だした単位を修存しなければなりない。							
区分		系列		要件				
_	人間と文化	1		必修科目を含め3単位以上				
般	歴史と社会	<u> </u>		2 単位以上				
般基礎科目	保体			1 単位以上	16単位以上			
科	科学と実践	ž.		必修科目を含め2単位以上				
Ħ	外国語 I ~	~IV		各1単位以上 合計4単位以上※				
			いのちとからだ・こころ					
			を科学する					
	専門基	いのちを科学する	いのちと生活を科学す		- 1 0 8 単位以			
	礎科目		る	28単位以上				
	WE/FI II		いのちと社会を科学す					
			る					
		いのちの連携	T					
専攻		基盤分野看護学	基盤看護学	13単位	上必修科目の			
専攻科目			小児・母性看護学		単位をすべて			
目		発達分野看護学	成人・老年看護学	4 5 単位	修得すること			
			精神看護学		19147 0 2 2			
	専門科目	広域分野看護学	在宅・公衆衛生看	10単位以上				
	313111	/4/3// / 1 1 1 1 1 1 1 1 1	護学	. , .				
				統合共通看護学1から3単位以上				
		統合分野看護学		統合共通看護学 2 から必修科目を含め				
		WELL 20 ST ST INC. 1		3単位以上				
				統合実践看護学から5単位				

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成 30~31 (2018~2019) 年度の入学生 (看護学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

- 1900	21人に連続するためには、「					
区分	系列			要件		
一般基礎科	人間と文化			12単位以上		
	歴史と社会					
	保体					
	その他					
	外国語 I ~ II					
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	- 必修科目を17単位以上		
			いのちと生活を科学する			
			いのちと社会を科学する			
	専門科目	専門科目 基盤分野看護学 基盤看護学				

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件	
一般	人間と文化			14単位以上	
	歴史と社会				
	保体				
目 礎 科	その他				
71-1	外国語 I ~IV				
専攻科目	専門基礎科目	- 一 しいのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する		
			いのちと生活を科学する		
			いのちと社会を科学する		
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	── 4 0 単位以上	
		ŀ		小児・母性看護学	40单位以上
		専門科目 発達分野看護学	成人・老年看護学		
			精神看護学		
		広域分野看護学	在学・公衆衛生看護学		

iii)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件		
一般基礎科目	人間と文化			必修科目を含め3単位以上		
	歴史と社会			2 単位以上		
	保体			1 単位以上	16単位以上	
科	その他			必修科目を含め2単位以上		
目	外国語 I ~IV			各1単位以上 合計4単位以上※		
			いのちとからだ・こころ			
	専門基礎科目		を科学する			
			いのちと生活を科学す			
			る	28単位以上		
			いのちと社会を科学す			
			る			
-		いのちの連携			108単位以	
中	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	13単位	上必修科目の	
専攻科目		発達分野看護学 成人・老年看 精神看護学 在字・小衆衛	小児・母性看護学		単位をすべて修得すること	
目			成人・老年看護学			
					1919 / 000	
			在宅・公衆衛生看	10単位以上		
			護学	. , .	-	
		統合分野看護学		統合共通看護学1から3単位以上		
				統合共通看護学 2 から必修科目を含め		
				3単位以上		
				統合実践看護学から5単位		

[※]日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成 26~29 (2014~2017) 年度入学生 (看護学科) 進級・卒業要件]

i)2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件
一般基礎科	人間と文化			12単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	その他			
目	外国語 I ~ II			
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	
			いのちと生活を科学する	- - 必修科目を17単位以上
			いのちと社会を科学する	必修科目を17単位以上
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	

ii)3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件	
一般基	人間と文化				
	歴史と社会				
	保体			14単位以上	
目 礎 科	その他				
4-1	外国語 I ~IV				
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する		
			いのちと生活を科学する		
			いのちと社会を科学する		
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	40単位以上	
				小児·母性看護学	40年四次工
		門科目 発達分野看護学	成人・老年看護学		
			精神看護学		
		広域分野看護学	在学・公衆衛生看護学		

iii)卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列		要件		
一般基礎科目	人間と文化		1 単位以上		
	歴史と社会		1 単位以上		
	保体		1 単位以上	16単位以上	
	その他		必修科目を2単位		
	外国語 I ~IV		各1単位以上 合計4単位以上※		
専攻科目	専門基礎科目		28単位以上	> 11 11	
	専門科目	基盤分野看護学	統合共通看護学1から3単位以上 統合共通看護学2から必修科目を含め3単位以上	108単位以 上必修科目を すべて修得す ること	
		発達分野看護学			
		広域分野看護学			
		統合分野看護学			

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I \sim IVより日本語科目 8 単位を修得すること。